

2024年度

せんだいメディアテーク年報
sendai mediatheque annual report

+

+

はじめに

2024年1月1日、能登半島を襲った大地震は、東北に住む私たちにとって、東日本大震災を思い起こさずにはいられない出来事でした。報道などで復旧の遅れを目にするたびに心が痛みましたが、そのような中でも、せんだいメディアテークに関わってきた方々が行動を始め、震災の記録を残す「3がつ11にちをわすれないためにセンター（わすれん!）」が改めて注目されるなど、2024年度はこれまでの取り組みが今に生きた一年でした。

「わすれん!」だけではありません。スタジオを拠点とした市民協働型プロジェクト「メディアスタディーズ」では、仙台在住の前衛芸術家・糸井貫二氏(2021年没)が1970年代におこなった路上ハプニングの写真を展示しました。館内見学に訪れたこどもたちが、その資料に見入り、当時の表現にふれる姿も見られました。さらに、作家・井上ひさし氏(2010年没)の小説を原作とした映画の上映では、地元高校生が多数来場し、戦後の仙台の姿に関心を寄せました。こうした事業を通じて、メディアテークは地域の過去と現在を結びつける場となりました。

また、6fギャラリーでは、仙台ゆかりの作家・椎名勇仁氏による展覧会『椎名勇仁 可塑圏：ねん土的思考』を開催しました。塑造という手法を用いた大規模な作品が展示され、デジタル化や均質化が進む現代において、手でつくることの意味をあらためて問い直しました。

2024年度は、次の世代に向けた取り組みにも力を入れた一年でした。「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として実施した「社会実践ポストポン」は、こどもたちが自分たちの暮らす地域社会に目を向け入り込むきっかけとなりました。また、やさしい問いとイラストで館内を紹介する冊子『smtデザインのひみつ』を制作したほか、ボランティアグループ「まほうの手」のみなさんによる手話でのおはなし会「手ではなすおはなしの会」もおこないました。これらの取り組みは、こどもだけでなく大人にも親しまれ、メディアテークがあらためて多様な人々をつなぐ結節点(ノード)となる試みとなりました。

最後になりますが、2013年度から館長を務めてきた鷺田清一が、2025年3月をもって退任いたしました。氏は、2011年3月の東日本大震災当時、大阪大学の総長として「私たちが今できることは、見守り続けること」と語り、当館が一部再開した同年5月には講演をおこないました。館長就任後も、「鷺田清一とともに考える」シリーズなどを通じて、12年もの間震災後の地域社会のあり方や価値観を作り出す場を市民と共に考え続けました。

2025年度にせんだいメディアテークは開館25周年を迎えます。鷺田館長とのこれまでの歩みをふまえつつ、さらに多様な人々が出会い、学び合う場となるよう努めてまいります。

2025年7月

1	文化・芸術への取り組み	
1-1	展覧会 椎名勇仁 可塑圏：ねん土的思考	07
1-2	せんだい・アート・ノード・プロジェクト	09
	1 川俣正／仙台インプログレス	
	2 藤浩志／ワケあり雑がみ部	
	3 笹原晃平／社会実践ポストボン	
	4 PARKING A30 大縁会	
	5 JOURNAL	
	6 MEETING	
	7 TALK	
1-3	資源循環の杜へ せんだいリポート	21
1-4	館長発信事業 鷲田清一とともに考える	24
	1 鷲田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん	
	2 鷲田清一とともに考える 最終回	
1-5	smtシネマ	27
	1 映像の仙台史4	
	2 いま見る／読む『青葉繁れる』	
	3 映像音響ライブラリーDVD上映会	
1-6	せんだいデザインリーグ2025 卒業設計日本一決定戦	30
1-7	ショートピース!仙台短篇映画祭2024	32
1-8	こどもわかものプロジェクト	33
2	協働と支援	
2-1	メディア・スタディーズ	35
	1 てつがくカフェ	
	2 ユースてつがくカフェ	
	3 仙台前衛藝術の足跡を辿る	
	4 どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイー	
	5 民話 声の図書室	
	6 みやぎシネマクラドル	
	7 結婚の定義	
	8 活版印刷工房	
	9-17 そのほかのプロジェクト	
2-2	バリアフリー・デザイン	51
	1 としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示	
	2 手ではなすおはなしの会	
	3 手話による読み聞かせボランティア養成講座2024	
	4 手話読み聞かせステップアップ講座	
	5 smtシネマ 映像音響ライブラリーDVD上映会	
	6 スウプノアカデミア2024	
	7 共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 仙台	

- 8 見えない人とつくるおしゃべり鑑賞会
- 9 情報保障・託児サービス等の取り組み

3	コミュニティ・アーカイブ	
3-1	3がつ11にちをわすれないためにセンター	59
	1 星空と路ー3がつ11にちをわすれないためにー	
	2 常設展示「わすれん!資料室」	
	3 外部機関への主な協力出展等	
3-2	コミュニティ・アーカイブ・ラボラトリー	62
3-3	地域資料の収集	63
	1 資料の収集・整理	
	2 資料の活用	
3-4	コミュニティアーカイブの仙台モデル事業	65
4	さまざまな連携	
4-1	仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)	67
4-2	定禅寺通イベント共催事業等	69
	1 七夕ひろば	
	2 メディアテーク de ちびぱーく	
	3 とっておきの音楽祭2024	
	4 仙台・青葉まつり「お祭り広場」	
	5 定禅寺ストリートジャズフェスティバル	
4-3	学校との取り組み	74
4-4	仙台市民図書館との取り組み	74
5	ライブラリー・サービス	
5-1	映像音響ライブラリー	76
5-2	視聴覚障害者情報ライブラリー（バリアフリー・ライブラリー）	76
5-3	インターネットを通じた資料提供	77
6	本・DVD等の発行物	
6-1	書籍や報告書等の印刷物	79
6-2	DVDメディア等の映像音響資料	79
6-3	紙やインターネットを通じた定期発行等	81
6-4	その他常備している印刷物	81
7	イベント一覧(時系列)	83

8	施設運営	
8-1	施設概要	88
8-2	沿革	88
8-3	収支	89
8-4	施設使用実績	89
8-5	仙台市メディアテーク条例	90

+

—

+

1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 ライブラリー・サービス

6 本・DVD等の発行物

7 イベント一覧(時系列)

8 施設運営

+

+



1-1

展覧会

椎名勇仁 可塑圏：ねん土的思考

仙台にゆかりのある美術家、椎名勇仁氏の個展を開催し、椎名氏の活動を回顧的に紹介しました。椎名氏は1990年代末から粘土の自在な可塑性(かそせい)に注目し、塑造を中心としたユニークな表現を続けています。今回の展示では、最初期から現在制作中の最新シリーズまで余すところなく紹介し、椎名氏の好奇心に根差した創造的な思考を伝えました。

会期：2024年11月2日(土)- 2025年1月13日(月・祝)11:00-20:00

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：5,326名

入場料等：一般500円、高校生以下無料、65歳以上の方・障害者手帳をお持ちの方と介添者1名は半額

協力：群馬県立近代美術館、北海道立埋蔵文化財センター、株式会社QDレーザ

助成：一般財団法人 地域創造

後援：tbc東北放送、仙台放送、宮城テレビ放送、khh東日本放送、河北新報社、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞仙台支局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、せんだいタウン情報 S-style、エフエム仙台、ラジオ3FM76.2MHz



[関連企画]

ギャラリーツアー

椎名氏と担当学芸員による展示解説ツアーを開催しました。展覧会場を来場者と一緒に回りながら、作品の解説をおこないました。

会期：2024年11月9日(土)、
11月23日(土)、12月7日(土)、
12月21日(土) 各回13:00-15:00

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：75名

ガイド：椎名勇仁氏、清水建人(せんだいメディアテーク)



ゲストトーク②

現代の仏像について造詣が深い宗教学者で美術家の君島彩子氏を迎え、展示された十二神将のシリーズについて触れながら、宗教彫刻とアートとの関係について考察しました。

会期：2024年12月21日(土)
15:30-17:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：21名

入場料等：展覧会チケット(当日分)の半券提示が必要

出演：椎名勇仁氏、君島彩子氏



ゲストトーク①

椎名氏が《火山焼》で優秀賞を受賞した現代アートの公募展「キリンアートアワード2003」(2003年)で審査員を務めた美術評論家の榎木野衣氏を迎え、当時を振り返りながら表現の核心を探りました。

会期：2024年11月9日(土)

15:30-17:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：26名

入場料等：展覧会チケット(当日分)の半券提示が必要

出演：椎名勇仁氏、榎木野衣氏



見えない人とつくるおしゃべり

鑑賞会(後述)

会期：2024年12月8日(日)、
12月15日(日) 各回11:30-13:00

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：24名

1-2

せんだい・アート・ノード・プロジェクト

art node

「優れたアーティストのユニークな視点と仕事」と、地域の「人材、資源、課題」をつなぐアートプロジェクトです。

アートノードでは、アーティストが仙台・東北をリサーチし、同時代性のある現代アート作品を制作、さまざまなプロジェクトを展開します。そして、調査、企画、制作、発表までの過程を人々と共有し、鑑賞にとどまらない活動への接点をつくることで、より多くの人に関わり、熱のある「アートの現場」を仙台につくりだしていきます。

1-2-1

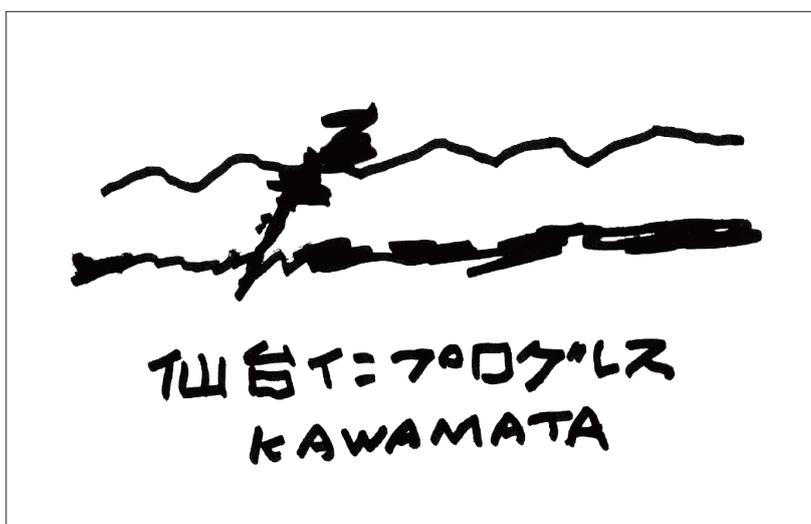
川俣正／仙台インプログレス

フランスを拠点に国際的な活動をおこなっているアーティスト川俣正氏が、東日本大震災で被害を受けた仙台市沿岸部で2016年に開始したプロジェクトです。2024年度は、宮城野区新浜地区と若林区井土地区の2ヶ所で活動を実施しました。

会期：通年

会場：仙台市沿岸部、1f エレベーター周辺、7f ラウンジ

協力：新浜町内会、貞山運河倶楽部、井土町内会、井土まちづくり推進委員会



[イベント]

みんなの橋(テンポラリー)再制作

仙台市宮城野区岡田・新浜地区で8月3日におこなわれた「貞山運河の渡し舟と新浜フットパス2024」にあわせて、仮設の船橋《みんなの橋(テンポラリー)》を再制作し、歩いて貞山運河を渡りました。イベント後には、貞山運河小屋めぐりに参加する地元アーティストや地域で活動する方々と意見を交わしました。

会期：2024年8月2日(金)、8月3日(土)

会場：仙台市宮城野区岡田・新浜地区 貞山運河

入場・参加者数：84名



《井土浜テラス》 《井土の井戸》の制作

津波で被災した仙台市沿岸部、若林区井土地区でプロジェクトを展開しました。2023年に《井土浜パーゴラ》を設置した場所を広場として、地域住民や井土地区を訪れた方々が過ごしやすい場所としていくことを目指し、新たに《井土浜テラス》 《井土の井戸》を制作しました。

会期：2024年8月4日(日)- 8月9日(金)

会場：仙台市若林区井土字宅地

入場・参加者数：80名



川俣正／仙台インプロGRESS 報告展 2024

スケッチや模型、映像でこれまでの活動を紹介しました。

会期：2025年3月1日(土)- 5月23日(金) 各日9:00-22:00

会場：1fエレベーター周辺、7fラウンジ

入場・参加者数：64,543名

入場料等：無料

協力：貞山運河倶楽部

アートノード・ミーティング 12

川俣正「仙台インプロGRESS」 2024 報告(後述)

会期：2024年8月10日(土)

14:30-16:00

会場：7fスタジオ a

入場・参加者数：41名

入場料等：無料



[協カイベント]

新浜 貞山運河小屋めぐり

会期：2024年5月19日(日)、
9月15日(日)、11月17日(日)、
2025年3月9日(日)

各日9:40-12:50

会場：仙台市宮城野区岡田

新浜地区

主催：Temporary Commons 実行
委員会、貞山運河倶楽部、
となりの畑

協力：せんだいメディアテーク、
新浜町内会

助成：公益財団法人 福武財団

貞山運河フォーラム

—貞山運河境界の風景をつくる—

会期：2025年月2月11日(火・祝)
14:00-16:00

会場：仙台市民活動サポートセン
ター 6階 セミナーホール

主催：Temporary Commons 実行
委員会、貞山運河倶楽部

協力：となりの畑、
せんだいメディアテーク、

新浜町内会、

NPO法人水・環境ネット東北

助成：公益財団法人福武財団、
水辺・絆プロジェクト

**貞山運河の渡し舟と新浜フットパス
2024**

会期：2024年8月3日(土)、
10月13日(日) 各日10:00-12:30

会場：仙台市宮城野区岡田

新浜地区

主催：新浜町内会、
Temporary Commons 実行委員会

協力：貞山運河倶楽部、
NPO法人水・環境ネット東北、
東北学院大学 平吹ゼミ、

カントリーパーク新浜、
せんだいメディアテーク

助成：公益財団法人 福武財団

**「仙台防災未来フォーラム2025」へ
の出展**

資料の展示、およびチラシの配布
等をおこないました。

会期：2025年3月8日(土)

9:30-16:30

会場：仙台国際センター展示棟

+

+

藤浩志／ワケあり雑がみ部

不要物を利用した作品やシステムづくりで知られるアーティスト藤浩志氏によるプロジェクト。仙台市のごみ分別区分のひとつである「雑がみ」をテーマに、造形活動、仕分け、パネル展示など、参加者それぞれが自由に活動を楽しみました。また、周辺商店街での七夕や、各種団体のイベントなどに協力しました。

会期：2024年6月7日、6月8日、7月12日、7月13日、8月2日、8月3日、9月13日、9月14日、10月11日、10月12日、11月15日、11月16日、12月6日、12月7日(各月 金・土1日ずつ、10:30-16:00開催/全14回)

会場：7f スタジオb

入場・参加者数：616名

入場料等：無料

協力：仙台市環境局

助成：一般財団法人 地域創造

**[イベント]****展示で雑がみ部 Vol. 7 Chikako**

展示で雑がみ部は、雑がみ部の部員を一人ずつ個展形式で紹介する取り組みです。Vol.7では、Chikakoさんの作品を展示しました。自身が創作した物語や感動したエピソードにインスピレーションを得て、様々な動物やキャラクターを制作しているChikakoさん。作品のもつ愛らしさが伝える、豊かであたたかい世界を紹介しました。

会期：2024年7月1日(月)- 2025年2月28日(金)

9:00-22:00

会場：1f 定禅寺通側

入場・参加者数：58,058名

入場料等：無料



笹原晃平／社会実践ポストボン

人々との関係性を重視したリレーショナルなアートプロジェクトを手がけるアーティスト笹原晃平氏を招き、「交換」「経済」「こども」「地域活性化」をキーワードに、分野を横断した人的交流、学びの機会や仕組みを創出する実験的な試みをおこないました。

[イベント]

ご精算先送りワーキンググループ

小中学生の夏休みにあわせて開催されたこの実験には、近隣地域のこどもたちと9つの飲食店が参加しました。「お金」や「交換すること」だけでなく、こどもを取り巻く環境などについてアートを介して考えるきっかけとなりました。

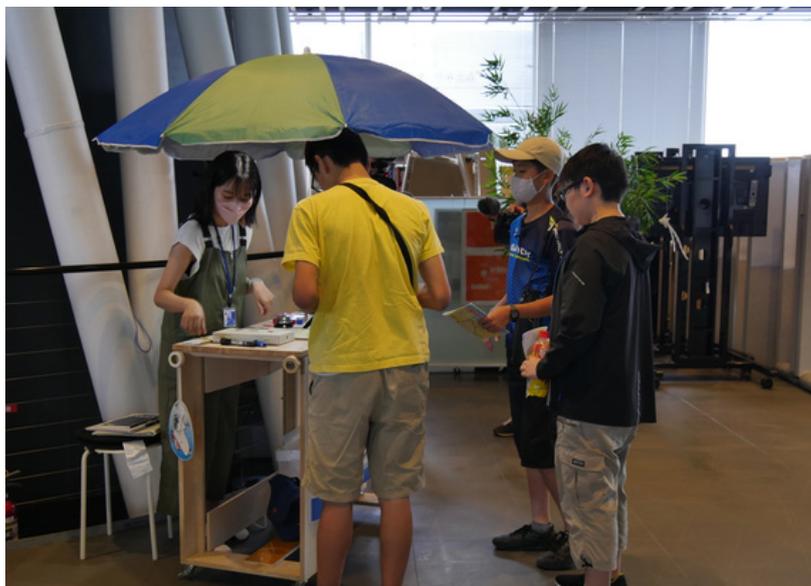
会期：2024年7月22日(月)-7月27日(土)

会場：せんだいメディアテーク周辺地域

入場・参加者数：240名

入場料等：無料

協力：TURNAROUND、若林緑氏(東北大学大学院経済学研究科 経済経営学専攻准教授)、飲食店9店舗(創作ダイニング As/アズ、仙台野菜のバーニャカウダとクラフトビールの店 amnt(あむんと)、かつどんのかつどん家、ターンアラウンド、はるのひ文庫『平十八郎珈琲店』、立呑 ベロン、本家かまどや 定禅寺通店、Music Endless(ミュージックエンドレス)、わでいはるふぁ)、小中学生



[関連企画]

関連トーク①

菅原晃平+若林緑(福祉経済学)

「社会実践ポストボン」について、福祉経済学的な視点からどのような見方ができ、どのような可能性を秘めているのか若林氏と意見を交わし検討しました。

会期：2024年7月25日(木)

15:00-16:00

会場：Gallery TURNAROUND

入場・参加者数：7名

入場料等：無料

協力：TURNAROUND

出演：菅原晃平氏、若林緑氏



関連トーク②

菅原晃平+山本浩貴(文化研究)

「社会実践ポストボン」について、美術史や文化研究の視点でどのような見方ができ、作品と捉えられるかについて、山本浩貴氏から意見をいただきました。

会期：2024年7月26日(金)

18:00-19:30

会場：Gallery TURNAROUND

入場・参加者数：19名

入場料等：無料

協力：TURNAROUND

出演：菅原晃平氏、山本浩貴氏(文化研究者、実践女子大学文学部美学美術史学科准教授)



1-2-4

PARKING A30 大縁会

仙台や東北で制作活動に取り組む若いアーティストらの交流の場を開きました。まちなかの駐車場を貸切り、ポートフォリオを閲覧できるライブラリーを設けたほか、参加アーティストによるプレゼンテーション、ラジオブースでのトークをおこない、アーティストの持続可能な活動のきっかけをつくる試みをしました。

会期：2024年9月29日(日)12:00-20:00

会場：三井のリパーク 仙台フォーラスお客様駐車場

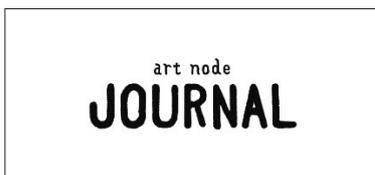
入場・参加者数：160名

入場料等：無料

協力：せんだい21 アンデパンダン展実行委員会、OF HOTEL、analog、仙台フォーラス、一番町一番街商店街新興組合

ゲスト：芦立さやか氏(秋田市文化創造館 ディレクター)、小田原のどか氏(彫刻家、評論家)、木村絵理子氏(弘前れんが倉庫美術館 館長)、森健太郎氏(Katsurao Collective ディレクター)





JOURNAL

アートノードプロジェクトの動きを広く伝えるとともに、アートが東北の人・資源・課題と接続するための話題提供をおこなう発行物です。

『アートノード・ジャーナル 12号』

「アーティストによる集团的自家製の作法」と題して、仙台・石巻・札幌の各アーティストランスペースの一員であるアーティストに、スペース運営に関わる意義や価値、困難とはどのようなものか、一問一答でたずねました。また、長年、自身のスペース運営に取り組み、制作活動を続けている美術家の中崎透氏に寄稿いただきました。表紙の JOURNAL GALLERY は、宮城県出身で現在は東京に拠点を置く画家の小山維子氏による作品です。

編集：甲斐賢治、田中千秋、丹治圭蔵、關本真理子(せんだいメディアテーク)

デザイン：佐藤豊氏

寄稿：SARP 仙台アーティストランプレイス(青野文昭氏、佐立るり子氏、小岩勉氏)、石巻のキワマリ荘(中村悠一郎氏、鹿野颯斗氏、ちばふみ枝氏)、

0地点(鷺尾幸輝氏、久保勝大氏、田口虹太氏)、中崎透氏

表紙：小山維子氏《羽ペンと足元》

発行日：2025年3月21日(金)

価格：無料



1-2-6



MEETING

せんだい・アート・ノード・プロジェクトに参加するアーティストの関心や取り組んでいる課題などを切り口としながら、活動の理解を深めていくとともに、来場者も交えてアートノードのプログラムを検証する自由参加型公開会議です。

アートノード・ミーティング12 川俣正「仙台インプログレス」2024報告

川俣正氏のプロジェクト「仙台インプログレス」において2024年度に制作した《井土浜テラス》、《井土の井戸》について紹介し、来場者とともに今後の展望について意見を交わしました。また、川俣氏はプロジェクトにおいて「アート作品を制作する」ことの意義に触れ、そのことを積極的に伝えていくことの必要性が共有されました。

会期：2024年8月10日(土)14:30-16:00

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：41名

入場料等：無料

出演：川俣正氏、甲斐賢治(せんだいメディアテーク)





[イベント]

TALK

現代アートやその周辺領域で活動されている方を招き、自身の制作での経験に基づいた考えを話していただくトークイベントです。仙台で活動するギャラリーや書店などのパートナーとともに開催します。

女川の海風—ひと、まち、そして原発のある暮らし

女川原子力発電所が建設される1977年ごろから建設反対運動に関わる多々良哲氏と、1988年から原発のある町の生活を撮影してきた小岩勉氏とのトークイベントを開催しました。当時の貴重な写真と映像から、かつての町の様子を見つつ、原発が再稼働しようとしているタイミングを前に、女川という地域について来場者とともに考えました。

会期：2024年8月17日(土)

18:00-19:30

会場：SARP 仙台アーティストラン
プレイス スペースB

入場・参加者数：27名

入場料等：500円

企画運営：佐藤矢英(たべることく
らすことSOW)、ほんだあい(喫茶
frame)

出演：多々良哲氏(あいコープ顧
問)、小岩勉氏(写真家)



想像力を通じて、風景を変容させる

兵庫県在住のアーティスト飯川雄大氏のこれまでの活動や、実現には至らなかった仙台市青葉区西公園での計画などを取り上げ、昨年度発行した記録集『デコレータークラブ』に寄稿していただいた五十嵐太郎氏らとのトークイベントを開催しました。対話を通して、公共空間におけるアートの可能性や意義を探りました。

会期：2024年11月27日(水)

19:00-20:30

会場：Gallery TURNAROUND

入場・参加者数：27名

入場料等：無料

企画・運営：TURNAROUND

出演：飯川雄大氏、五十嵐太郎氏
(建築史家、建築批評家／東北大学大学院教授)、甲斐賢治・田中千秋
(せんだいメディアテーク)

司会：関本欣哉(TURNAROUND)



[関連企画]

**ツアー「西公園で猫の小林さんを
想像する」**

会期：2024年12月8日(日)

13:30-15:00

会場：西公園

入場・参加者数：17名

入場料等：無料

企画・運営：TURNAROUND

ガイド：飯川雄大氏、田中千秋(せ
んだいメディアテーク)

+

+

1-3

資源循環の杜へ せんだいリポート

仙台市環境局やユニークな視点で環境問題に取り組む市民・アーティストと協働しながら、仙台の新しい資源循環のあり方を考えていくプロジェクトです。

[イベント]

サーキュラーファイトクラブ

家庭ごみの減量をはじめとする環境に配慮した生活様式の普及に取り組む活動者が企画したワークショップをおこないました。プラスチック、海洋ゴミ、生ごみなどに実際に触れながら、環境問題に対して私たちに何ができるのかを考え、最初の一步につなげる機会をつくりました。

会期：2024年7月12日、7月13日、8月2日、8月3日、9月13日、9月14日、
10月11日、10月12日、11月15日、11月16日、12月6日、12月7日
(各月 金・土1日ずつ、10:30-16:00開催/全12回)

会場：7fスタジオaほか

入場・参加者数：460名

入場料等：無料

共催：仙台市環境局



資源循環の杜へ せんだいリポートデイ —ただいま再起動中—

これまで「せんだいリポート」に関わった活動者らの取り組みを体験できるブースを設置し、活動の公開と共有をおこないました。資源循環に関わるワークショップやトーク、おもちゃの交換会を通して、プラスチック用品、雑がみ、生ごみ、電子機器、おもちゃなどの資源との向き合い方を考えました。

会期：2024年12月14日(土)、12月15日(日) 各日11:00-16:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：956名

入場料等：無料

共催：仙台市環境局

出展：海辺のたからもの、かえっこ、株式会社ソノベ×伊藤裕氏(デザイナー)、コンポスト部(tsugi)、酒井貴史氏(美術作家)、仙台市環境局資源循環部家庭ごみ減量課、東北工業大学 環境サークルたんぼぼ、道具屋ホリデイズ、FabLab SENDAI -FLAT-、ワケあり雑がみ部



[関連企画]

トークイベント

モノのおみおくり／廃棄ともものがたりについて—ワールドおさがりセンターの実践—

会期：2024年12月14日(土)

15:00-16:00

会場：イベントに同じ

入場料等：無料

出演：酒井貴史氏、藤浩志氏(アーティスト、ワケあり雑がみ部部长)

司会：阿部結悟氏(仙台市環境局)

トークイベント

資源循環と協働の場所・コミュニティをどうやって作る？

会期：2024年12月15日(日)

14:00-15:30

会場：イベントに同じ

入場料等：無料

出演：津田和俊氏(山口情報芸術センター[YCAM]、京都工芸繊維大学)、藤浩志氏

司会：大網拓真氏

(FabLab SENDAI-FLAT-)



1-4

館長発信事業

鷲田清一とともに考える

1-4-1

館長の鷲田清一が、各分野のプロフェッショナルからお話をうかがいながら、いまメディアテークを通して見える社会の課題について、みなさんと共有し考えを深めていく対話の時間です。

鷲田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん

対話をしながら、道徳における「徳目」のほんとうの意味について来場者とともにひも解くシリーズです。今年度は2つのテーマから、メディアテークを通して見える現代社会の状況や課題について考えを深めました。

助成：一般財団法人 地域創造

[イベント]

6じかんめ「適当」

テーマは「適当」。独自の身体論に基づいてケアのあり方を実践的に探求している伊藤亜紗氏をお招きしました。ものごとの「いい加減」とは、ふさわしい状態としての「適当」とはどのようなものか、伊藤氏による事例紹介をもとに参加者とともに対話を重ねました。

会期：2024年6月29日(土)14:00-16:00

会場：1fオープンスクエア

入場者・参加者数：180名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記

出演：伊藤亜紗氏(美学者、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)、
鷲田清一(哲学者、せんだいメディアテーク館長)



7じかんめ「誠実」

テーマは「誠実」。「無支配主義(アナキズム)」の研究をしている栗原康氏をお招きしました。社会システムが与えた務めではなく、個人が生きるために見出した役割に誠実であることは可能なのか、誰しものが支配からの自由を求めたとき、誠実さはどのように存在するのか、参加者とともに対話を重ねました。

会期：2024年9月28日(土)14:00-16:00

会場：1fオープンスクエア

入場者・参加者数：155名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記

出演：栗原康氏(政治学者、東北芸術工科大学非常勤講師)、鷺田清一



1-4-2

鷲田清一とともに考える 最終回

2014年から開催し、これまで19名(17組)のプロフェッショナルと考えを深めてきた対話の時間「鷲田清一とともに考える」。最終回は、館長を務めてきた12年間の中で、はじめての「ひとり語り」をおこないました。東日本大震災から現在までをふり返り、メディアテークがこれからの社会に求められる役割について考えました。

会期：2025年3月23日(日) 14:00-15:00

会場：1fオープンスクエア

入場者・参加者数：385名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記

出演：鷲田清一

+

+



1-5

smtシネマ

7階スタジオシアターを拠点として、さまざまな映画・映像作品を上映するプロジェクトです。シネマテーク(映像博物館)、映像アーカイブ、そして映像表現の現在地を探る取り組みをおこないました。

1-5-1

映像の仙台史4

フィルムやビデオに残された映像から仙台の現代史を探るシリーズ。今回は、仙台市が政令指定都市となった1987年に開業した地下鉄南北線の工事を記録した映画『仙台市地下鉄—南北線建設の記録』(1988年)を取り上げました。上映後には、工事の現場に携わった元交通局職員を迎えて当時の様子をうかがうなどしたほか、より多くの方が鑑賞しやすい《リラックス上映》では、日本語字幕つき上映や手話通訳つきの解説もおこないました。さらに、当日はスタジオbにて、家庭に保存されている8ミリフィルム等についての相談も受け付けました。

会期：2024年6月22日(土)、6月23日(日) 各日10:30-/14:30-

会場：7fスタジオシアター、スタジオb

入場・参加者数：462名

入場料等：無料

バリアフリー対応：託児サービス、リラックス上映

協力：仙台市交通局

出演：森研一郎氏、千葉正弘氏(ともに仙台市交通局元職員)、
小川直人(せんだいメディアテーク)



いま見る／読む『青葉繁れる』

1950-53年、仙台第一高等学校に通っていた自身の思い出をもとに執筆された井上ひさし氏による同名小説を原作とした映画『青葉繁れる』(1974年)。その劇場公開から50年、井上ひさし氏生誕90年、そして、監督の岡本喜八氏の生誕100年でもある年に、今では貴重な35ミリフィルムでの上映をおこない、同作のリーディング公演を演出した大河原準介氏や、仙台文学館の赤間亜生氏を迎えてお話をうかがいました。また、上映会にさきがけ、井上氏が初代館長を務め、同作にまつわる資料を所蔵している仙台文学館での読書会も実施しました。

会期：2024年10月19日(土)13:30-16:00、

10月20日(日)11:00-12:30/14:30-17:00

会場：7f スタジオシアター

入場・参加者数：509名

入場料等：一般1000円、障害をお持ちの方500円、高校生以下無料

バリアフリー対応：託児サービス、リラックス上映

協力：仙台文学館

出演：大河原準介氏(劇作家、演出家)、赤間亜生氏(仙台文学館副館長)、

小川直人(せんだいメディアテーク)



[関連企画]

『青葉繁れる』読書会

会期：2024年10月6日(日)

13:30-15:30

会場：仙台文学館

入場料等：常設展観覧料(一般460円)

協力：仙台文学館

映像音響ライブラリーDVD上映会(音声解説・日本語字幕つき)(後述)

『コーダ／あいのうた』

会期：2024年11月29日(金)

10:00-/14:00-

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者等：94名

入場料等：無料

『桜色の風が咲く』

会期：2025年2月28日(金)

10:00-/14:00-

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者等：107名

入場料等：無料

『もうろうをいきる』

会期：2025年2月4日(火)

10:00-/14:00-

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者等：72名

入場料等：無料

+

+

1-6

せんだいデザインリーグ 2025 卒業設計日本一決定戦

建築を学ぶ学生の卒業設計を全国から公募し、建築家などによる公開審査のもと卒業設計日本一を決めるイベントです。2003年の第1回開催から今期で23回目を迎え、建築を志す学生、その集大成である卒業設計作品が大学の垣根を超えて会する熱気に満ちた舞台となりました。

会期：2025年3月9日(日)- 3月16日(日)

会場：1f オープンスクエア、5f ギャラリー 3300、6f ギャラリー 4200、
オンライン

主催：仙台建築都市学生会議、せんだいメディアテーク

[審査員]

重松象平(審査員長)、忽那裕樹、増田信吾、松田法子、山田紗子

[入賞作]

日本一：永井銀河・松村拓宙・吉田和馬(早稲田大学)『呼吸するところ』

—トンレサップ湖・湖上拠点—

日本二：中村紗也佳(奈良女子大学)『平成新山のふもとで生き続ける島原へ』
—溶岩ドーム崩壊という自然現象と共存する今後の安中地区の在り方—

日本三：渡辺椎菜(工学院大学)『空地から種地へ』

—池袋本町都市計画道路における未来の交配実験—

特別賞：山本拓二(大阪工業大学)『尼崎ラプソディ』—モノ・コト・ヒトの流通による「らしさ」の醸成—、半田洋久(芝浦工業大学)『、ヒトがいる、モノがある、暮らしがある、』—場所の再調整、仲間との実装の経過報告。令和6年能登半島地震被災地、黒島地区から—

[イベント]

公開審査

会期：2025年3月9日(日)14:00-19:00

会場：1f オープンスクエア(YouTubeで配信)

入場・参加者数：656名

入場料等：無料



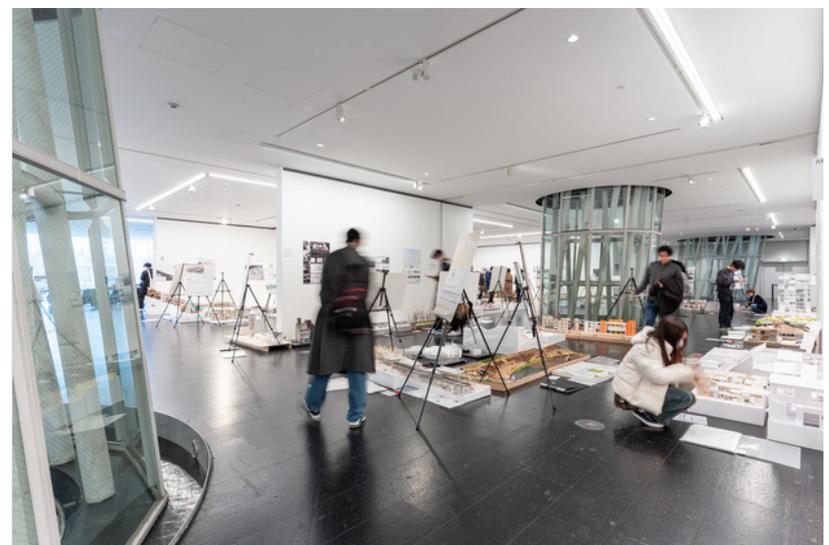
作品展示

会期：2025年3月9日(日)- 3月16日(日) 各日10:00-18:00

会場：5fギャラリー 3300、6fギャラリー 4200

入場・参加者数：2,383名

入場料等：無料



1-7

ショートピース!仙台短篇映画祭 2024

2001年より続く市民有志による実行委員会が企画する映画祭。24回目を迎えた今年度は、仙台市出身の監督鈴木竜也氏や高校生たちなどがつくる地元ゆかりある作品から、チャップリンの名作のバリアフリー上映、さまざまな土地と歴史にまつわるドキュメンタリーの上映などをおこない、多数のゲストが来場しました。

会期：2024年9月21日(土)-9月23日(月・休)

会場：7f スタジオシアターほか

入場・参加者数：754名

入場料等：1プログラム券一般1,000円、65歳以上・高校生以下・障害者手帳をお持ちの方等800円

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記

主催：仙台短篇映画祭実行委員会

共催：せんだいメディアテーク

[上映プログラム]

無料上映 高校生プログラム

鈴木竜也短篇集 三人の男 MEAN ANIMATION

ヴィム・ヴェンダース短編作品特集

バリアフリー上映 チャップリンの『街の灯』

新しい才能に出会う

多くの人が魅了されたストップモーションアニメ

短篇で出会いなおす井口奈己

小田香の描く風景

短篇映画からアジアのご近所さんを知る

[ゲスト]

鈴木竜也氏、平塚千穂子氏、関駿太氏、高上雄太氏、田村愛理氏、

山田遼志氏、OSRIN氏、井口奈己氏、澁谷浩次氏、小田香氏、小森はるか氏



1-8

こどもわかものプロジェクト

学校では経験することのない体験や学びから、こどもや若者の想像力をひろげるプロジェクトです。メディアテークを拠点とし、個性に応じた表現活動に挑戦できる場や地域で支える子育ての場をつくる試みの初年度として、未就学児・育児者向けの「てつがくカフェ」と、こどもも保護者も一緒に楽しめる館内ガイドを実施しました。また、こども向けにメディアテークの館内案内冊子『smtデザインのひみつ』を制作しました。

[イベント]

おとなとこどものてつがくカフェ プレ・ミーティング

「てつがくカフェ」(後述)をベースにした、育児者が参加するための、おとなとこどものための「てつがくカフェ」。その始動に先立ち、ウォームアップとしてプレミーティングをおこないました。みんなで作業をしながら、「抱っこってどうしてるんだろう」などお話ししました。

会期：2024年5月25日(土)
10:30-11:30

会場：2f映像音響ライブラリー

入場・参加者数：14名

入場料等：無料、育児をしている方と6歳未満の子が対象

バリアフリー対応：託児サービス

smtこどもガイド

小学生と保護者向けに、各階を歩きながら、メディアテークの建築の特徴や普段は見ることのできないバックヤード等の案内をしました。

会期：2024年10月12日(土)-

10月14日(月・祝)

各回14:00-14:40

会場：1fオープンスクエアほか

入場・参加者数：36名

入場料等：無料、小学生と保護者が対象



館内案内冊子

『smtデザインのひみつ』



1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 ライブラリー・サービス

6 本・DVD等の発行物

7 イベント一覧(時系列)

8 施設運営

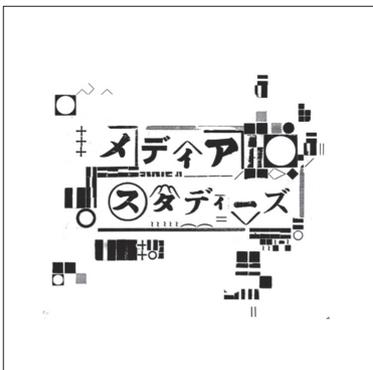
+

+

2

2-1

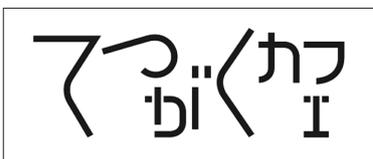
メディア・スタディーズ



メディアを活用して地域の文化をつくる、個人・グループによるさまざまなプロジェクトです。

※2-1-1～2-1-8のイベントについては、一般財団法人 地域創造の助成を受けて実施しました。

2-1-1



てつがくカフェ

活動主体：てつがくカフェ@せんだい

通常当たり前だと思っている事柄について「そもそもそれって何なのか」と問い直し、参加者同士で「対話」を重ねることで、考えることの難しさや楽しさを体験する企画「てつがくカフェ」をおこなっています。

※以下のイベントは、てつがくカフェ@せんだいとの共催で実施しました。

[イベント]

てつがくカフェ読書会

「体験を言葉にすること」

— 『戦争語彙集』を読む

戦争により言葉の意味内容が変化していくさまを綴った書籍『戦争語彙集』の中から、訳者のロバートキャンベル氏の文章「戦争のなかの言葉への旅」(8月開催は前半部分、11月開催は後半部分)を取り上げ、参加者とともに読み解きながら、戦時下の人々の言葉について考えを深めました。

会期：2024年8月24日(土)、

11月24日(日) 各日14:00-16:00

会場：7fスタジオa(8月)、b(11月)

入場・参加者数：22名(8月)、15名(11月)

入場料等：無料、書籍持参



てつがくカフェplus

「無駄な時間」について考える

「無駄な時間」をテーマに、キーワードを出すステップを踏みながら対話を通して考えを深めました。あわせて対話の進行についても振り返りました。

会期：2024年11月23日(土・祝)

14:00-16:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：31名

入場料等：無料



第93回てつがくカフェ

「体験を言葉にすること

—『戦争語彙集』から考える

「体験を言葉にすること」をテーマに、キーワードを出すステップを踏みながら、参加者とともに対話によって考えを深めました。

会期：2025年2月16日(日)

14:00-16:30

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：21名

入場料等：無料



てつがくカフェplus

「日常と非日常」を考える

「日常と非日常」をテーマに自由な考えを発言し合い、キーワードを出すステップを踏みながら、参加者とともに対話を深めました。

会期：2025年1月11日(土)

14:00-16:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：24名

入場料等：無料



第94回てつがくカフェ

「小さな声を重ねる

—震災から14年が経過して

「小さな声を重ねる—震災から14年が経過して」をテーマに、参加者の方々と対話を重ねて考えを深めました。

会期：2025年3月16日(日)

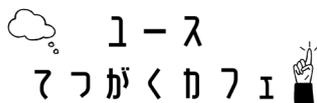
14:00-16:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：45名

入場料等：無料





ユースてつがくカフェ

活動主体：ユースてつがくカフェ

ユースてつがくカフェは、学校や教室といった枠にとらわれず、人間同士が語り合い、物事を深くから考えてみる場です。

※以下のイベントは、てつがくカフェ@せんだいと共催で実施しました。

[イベント]

ユースてつがくカフェ

第26回公開ミーティング

「校則」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2024年4月27日(土)

14:00-16:00

会場：7f スタジオ a

入場・参加者数：6名

入場料等：無料、中学生・高校生・20歳前後の方が対象



ユースてつがくカフェ

第28回公開ミーティング

「才能」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2024年6月30日(日)

14:00-16:00

会場：7f スタジオ a

入場・参加者数：8名

入場料等：無料、中学生・高校生・20歳前後の方が対象



ユースてつがくカフェ

第27回公開ミーティング

「他者の認識」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2024年5月19日(日)

14:00-16:00

会場：7f スタジオ a

入場・参加者数：6名

入場料等：無料、中学生・高校生・20歳前後の方が対象

**ユースてつがくカフェ
第29回公開ミーティング**

「運」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

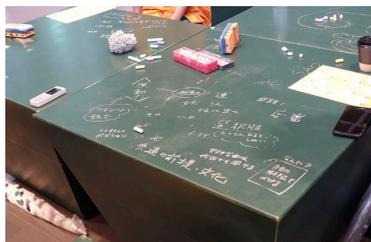
会期：2024年7月27日(土)

14:00-16:00

会場：7f スタジオ a

入場・参加者数：8名

入場料等：無料、中学生・高校生・20歳前後の方が対象



**ユースてつがくカフェ
第31回公開ミーティング**

「美しさとは？」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2024年9月15日(日)

14:00-16:00

会場：7f スタジオ a

入場・参加者数：5名

入場料等：無料、中学生・高校生・20歳前後の方が対象



**ユースてつがくカフェ
第30回公開ミーティング**

「性格診断」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2024年8月18日(日)

9:30-11:30

会場：火星の庭

入場・参加者数：9名

入場料等：無料、中学生・高校生・20歳前後の方が対象



**ユースてつがくカフェ
第32回公開ミーティング**

「友達」などのテーマをきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2024年10月26日(土)

14:00-16:00

会場：7f スタジオ b

入場・参加者数：10名

入場料等：無料、中学生・高校生・20歳前後の方が対象



**ユースてつがくカフェ
第33回公開ミーティング**

「暇」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2024年12月22日(日)

14:00-16:00

会場：7f スタジオb

入場・参加者数：7名

入場料等：無料、中学生・高校生・20歳前後の方が対象



**ユースてつがくカフェ
第35回公開ミーティング**

「さびしさ」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

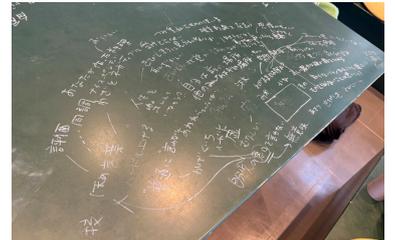
会期：2025年3月9日(日)

14:00-16:00

会場：7f スタジオa

入場・参加者数：4名

入場料等：無料、中学生・高校生・10代の方が対象



**ユースてつがくカフェ
第34回公開ミーティング**

「演劇(演じること)」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

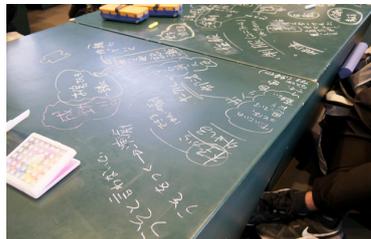
会期：2025年2月11日(火・祝)

14:00-16:00

会場：7f スタジオa

入場・参加者数：4名

入場料等：無料、中学生・高校生・10代の方が対象



報告展 ユースてつがくカフェ

それぞれのかたち

2012年に始まったユースてつがくカフェ。コロナ禍での休止期間を経て、活動再開後の第19～28回までの公開ミーティングの記録を紹介する報告展を開催しました。各ミーティング後のレポートを掲示し、参加者が対話の中で残したグラフィック(板書)はパズルとして遊べるようにしました。パズルのピースをはめながら、参加者の思考の形跡をたどる展示になりました。

会期：2024年8月6日(火)-9月

15日(日) 各日9:00-22:00

会場：7f ラウンジ

入場・参加者数：10,338名

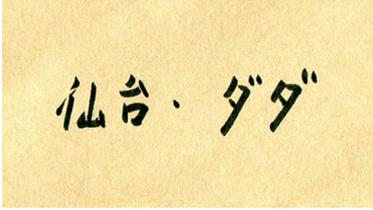
入場料等：無料



+

+

2-1-3



仙台前衛藝術の足跡を辿る

活動主体：ダダカン連

戦後まもなく、行為による表現活動を始めた糸井貫二氏を中心に、1960年代・70年代から活動する仙台の美術家や関係者への聞き取りおよび映像メディアによる記録、資料調査をおこなうプロジェクトです。いまだ知られざる仙台前衛藝術の動向と同時代の状況を考察するとともに、後世に残すためのドキュメントを作成しています。今年度は展示と関連企画をおこないました。

[イベント]

地域とアヴァンギャルド―戦後前衛芸術の聖地／仙台市太白区太子堂

1950年代から読売アンデパンダン展や各地のハプニング・イベント、ストリートで前衛的な表現活動を展開した、仙台ゆかりのアーティスト・糸井貫二氏(ダダカン、1920-2021)。今回の展示では、2024年6月に居宅(鬼放舎)の取り壊しをきっかけに新たに発見された資料を紹介しながら、太子堂という土地との関係や糸井氏の活動の足跡を辿りました。

会期：2024年10月19日(土)- 2025年1月19日(日) 各日9:00-22:00

会場：7fラウンジ、スタジオa

入場・参加者数：22,077名

入場料等：無料

共催：ダダカン連

協力：糸井義朗氏、一般社団法人 戦後芸術資料保存、科研費「日本戦後芸術のアーカイブ構築と学術的方法論の研究」(研究代表者：橘川英規氏)



[関連企画]

展示解説ツアー

共催のダダカン連メンバーが展覧会の趣旨や展示物解説をおこないました。

会期：2024年10月20日(日)

14:00-15:30

会場：7fラウンジ、スタジオa

入場・参加者数：24名

入場料等：無料

出演：ダダカン連



トークイベント

「糸井貫二資料調査進捗報告会」

糸井貫二氏についての調査を続けるダダカン連メンバーの三上氏と細谷氏による調査進捗報告会を実施しました。2024年6月に取り壊された糸井貫二自宅(鬼放舎)から発見された写真ネガ・版画作品・書簡などの資料を中心に話しました。

会期：2025年1月19日(日)

14:00-15:30

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：44名

入場料等：無料

出演：三上満良氏、細谷修平氏



トークイベント

「太子堂と糸井家の記憶」

糸井貫二氏の妹である天野清子氏をゲストにダダカン連メンバーが聞き手となり、糸井家や太子堂との関わり、家族としての糸井貫二氏についてお話を伺いました。

会期：2024年12月1日(日)

14:00-15:30

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：44名

入場料等：無料

出演：天野清子氏、ダダカン連



どこコレ?

— おしえてください昭和のセンダイ —

どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ—

活動主体：NPO法人20世紀アーカイブ仙台

市民の方々から写真提供を受け、保存活動をおこなうプロジェクトです。提供される写真の中から場所や年代の不明なものを展示公開し、市民からの情報により確定するイベント「どこコレ?」を開催しています。

[イベント]

第13回 どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ—

仙台のどこかではあるけれども詳細がわからない古い写真を展示し、来場者から貼られた付箋の情報をもとに場所や時代を確定しました。

会期：2024年4月27日(土)-5月6日(月) 各日10:00-18:00(1期)、
2024年5月8日(水)-6月23日(日) 各日9:00-22:00(2期)

会場：1fオープンスクエア(1期)、
7fラウンジ(2期)

入場・参加者数：18,436名

入場料等：無料

共催：NPO法人20世紀アーカイブ
仙台



2-1-5



民話 声の図書室

活動主体：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム

「みやぎ民話の会」が約45年にわたって記録してきた宮城県内を中心とする民話語りの映像・音声を、誰もが活かせる共有財産として後の世代に手渡していくため、民話語りのCD作成、語りの映像撮影とDVD作成、震災前に聞いた「浜の民話」の紹介、民話について自由に考え語り合う「民話ゆうわ座」の企画運営などをおこなっています。

[イベント]

小さなゆうわ座

海と暮らしてきた人たちの話

—寒風沢島の「古げたのおばけ」から考える—

塩竈市浦戸寒風沢島の土見壽郎氏の語りを通して、海に囲まれた島の暮らしの特徴や、震災を経て変化した日常などについて参加者とともに話し合いました。

会期：2025年2月15日(土)

13:30-15:30

会場：7f スタジオa

入場・参加者数：81名

入場料等：無料

共催：「民話 声の図書室」プロジェクトチーム



2-1-6



みやぎシネマクラドル

活動主体：みやぎシネマクラドル

宮城県を主な拠点に、映像を通して作り手と市民が繋がり支え合うためのコミュニティです。作品を鑑賞しながら語り合う「映像サロン」等を開催しています。

[イベント]

第20回映像サロン

自分の生き様を貫く—あるロック ミュージシャンを撮り続けて—

学生時代にガールズロックバンドを組んでいた佐藤真紀氏がロックミュージシャンのササキ・ショーイチ氏を5年がかりで追いかけたドキュメンタリー映画『ササキショーイチ』(A面)(B面)を上映しました。上映後、鑑賞した参加者同士で感想や意見の交換をおこないました。

会期：2024年5月12日(日)

13:30-17:00

会場：7fスタジオb

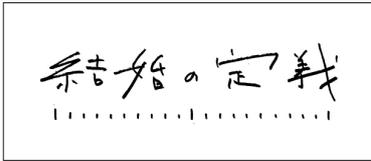
入場・参加者数：14名

入場料等：無料

共催：みやぎシネマクラドル

協力：i-くさのねプロジェクト





結婚の定義

活動主体：♀×♀お茶っこ飲み会・仙台

「同性婚」「夫婦別姓」「婚活」「生涯未婚」…現代日本社会は「結婚」に関するキーワードであふれています。しかしその一方で「そもそも『結婚』って何?」という根本のところは置き去りにされがちです。法制度・文化・習俗など、さまざまな側面がある「結婚」。友人や恋人やきょうだいや、他のいろいろな関係と区別するズバリな「結婚の定義」はあるのか?それともそんなものはないのか?多面的な視点から考察していくプロジェクトです。

[イベント]

ミニ展示「結婚の定義」

メッセージ募集—あなたの「結婚指輪エピソード」教えてください!

結婚指輪に関する考えや思いを問うアンケート展示を実施しました。来場者の方から、結婚指輪をする／しない理由、結婚指輪について思うこと、結婚指輪にまつわるエピソードなどを集めました。

会期：2024年6月1日(土)- 6月30日(日) 各日9:00-22:00

会場：1f南側エレベーター周辺

入場・参加者数：19,254名

入場料等：無料

共催：♀×♀お茶っこ飲み会・仙台



2-1-8



活版印刷工房

活動主体：活版印刷研究会

活版印刷の文化を保存し伝えるプロジェクトです。毎月1回、メディアテークの活版印刷機や活字を用いた制作・周辺設備の保守活動をしています。活字や道具のメンテナンスの技術を職人さんから学び、継承することで活版文化を後世に残すとともに、日々の活動や展示、一般のかた向けのワークショップの開催などを通して、会の後継者の育成に取り組んでいます。

[イベント]

活版印刷ワークショップ

活版印刷のワークショップと、印刷工房の見学をおこない、その中で活版によるカードの作成・印刷などの体験を実施しました。

会期：2024年10月20日(日)

10:30-12:00/14:00-15:30

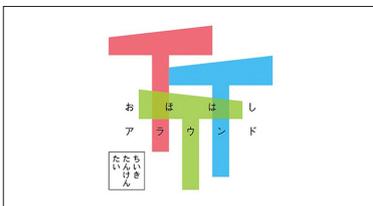
会場：B1f準備室

入場・参加者数：58名

入場料等：無料、各回先着8名、小学生以上が対象、低学年のお子様は大人の付き添いが必要
共催：活版印刷研究会



2-1-9

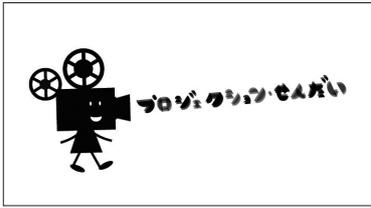


おほはしア라운드

活動主体：地域探検隊-TTT-

広瀬川大橋周辺をフィールドに、地域のエリアを広げる探検から、心の中にある地域を浮かび上がらせる探検、そして文化の壁・地域の内と外を乗り越える探検を行い、ガイドツアーやアートなどに活用するためのアーカイブ活動です。多層に積み重ねられた歴史と地域の生活文化を尊重するまちづくりとして取り組んでいます。

2-1-10



プロジェクション・センドイ

活動主体：プロジェクション・センドイ

仙台で70年にもわたり、映写技師として活躍している浅井浩雄氏のドキュメンタリーを制作するプロジェクト。今ではなかなか見ることができない映写や、浅井氏から語られる仙台や映画文化の記録をおこないます。

+

2-1-11



知る 続く 在来作物プロジェクト

活動主体：みやぎ在来作物研究会

在来作物とは、その土地で世代を超えて長年栽培され、人々に親しまれてきた野菜、果樹、穀類などの作物です。種を取る方法は、昔ながらの農法とともに代々受け継がれ「生きた文化財」とも言われます。地元にある在来作物を知り、守ってきた人たちを知り、これからも大切に残していきたいという活動です。

+

2-1-12



いきもの記録係

活動主体：いきもの記録係

いまを生きる命を、大切に記録する係／活動です。現在は貴重になっている日本の蚕と飼育している養蚕農家や、八木山動物公園に暮らすゴリラをはじめ、多種多様な生きる命を記録します。

2-1-13



Sendai.log

活動主体：Sendai.log

仙台の町の変化を捉え、記録していくプロジェクトです。振り返るといつのまにか変わっている「今の町の姿」を記録し、アーカイブログを作成しています。

2-1-14



失われた村の風景を記憶しなおす

活動主体：「失われた村の風景を記憶しなおす」プロジェクト

2000年、日米軍事演習を契機に集団移転がなされた黒川郡大和町升沢地区。升沢の記録保存調査に参加していた手代木信成氏が撮影していた移転前後の村の人々や自然の風景の写真約3000枚をデジタル化し、各写真を軸に、撮影内容・背景・周辺エピソードなど、撮影者や関係者からの情報を立体的にまとめるプロジェクトです。

2-1-15

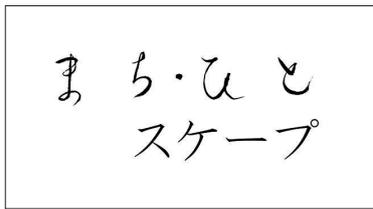


細倉を記録した寺崎英子の写真アーカイブ

活動主体：寺崎英子写真集刊行委員会

1941年、旧満州に生まれた寺崎英子氏は、家族とともに宮城県鶯沢町細倉という鉱山町に移り住み、家業の売店を生業にしてきました。鉱山の閉山が発表されると寺崎氏はカメラを手にし、その後の細倉の行方を撮影しました。このプロジェクトでは、撮影された約1万1千カットのネガをアーカイブし、写真集刊行を目指して活動してきました。2023年に写真集を刊行し、その後は展覧会等を実施しています。

2-1-16



まち・ひとスケープ

活動主体：まち・ひとスケープ

残したい・伝えたいさまざまな事柄を、動画やブログなどのメディアを通して発信。楽しみながら、学びあい・スキルを高めあう活動です。

+

2-1-17



たても観察同好会

活動主体：SASSA (Sendai Architecture, Statue & Stone Association)

昭和時期を中心に建てられた、数多の建築。有名な建築家が建てた「名建築」以外のそれら「たても」を実際に訪れ、改めて観察することによって、その魅力を再発見していこうとするプロジェクトです。

+

2-2

目や耳の不自由な人々の主体的な情報アクセスを促進するための事業や、障害の有無にかかわらず参加できる事業です。

バリアフリー・デザイン

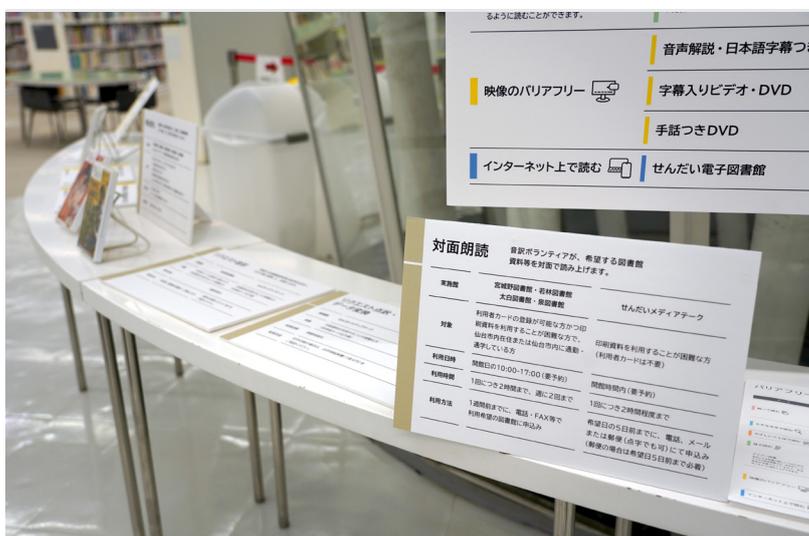
2-2-1

としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示

せんだいメディアテークと仙台市民図書館が持っているバリアフリー資料を展示し、紙に印刷された文字を読むだけではない、さまざまな読書の楽しみ方を紹介しました。また、第7回 障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市「きいて、みて、して、見本市。」(会期 2025年1月31日～2月5日)に資料の出展をおこないました。

会期：通年

会場：2fバリアフリーカウンター



2-2-2

手ではなすおはなしの会

聞こえない・聞こえにくいこどもたちに絵本の世界を楽しんでほしいという思いから始まった手話によるおはなし会です。ボランティアグループ「まほうの手」が、絵本の読み聞かせや、ワークショップを取り入れながら本の世界を体験するアニメーションをおこなっています。

※以下のイベントは仙台市民図書館との共催で実施しました。

[イベント]

2024 春

読み聞かせや、アニメーションをおこないました。

会期：2024年5月11日(土)

10:15-11:00

会場：7fスタジオ a

入場・参加者数：40名

入場料等：無料、幼児 - 小学校低学年が対象

バリアフリー対応：手話通訳



2024 秋

手話のおはなし会を実施しました。

会期：2024年11月10日(日)

10:30-11:00/11:30-12:00

会場：7fスタジオ b

入場・参加者数：118名

入場料等：無料、幼児 - 小学校低学年が対象

バリアフリー対応：手話通訳



ミニ

仙台市民図書館が主催するイベント「にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば」に、「まほうの手」が参加しました。

会期：2024年7月7日(日)

10:10-10:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：35名

入場料等：無料、4ヶ月 - 2才児と妊娠中の方・その家族が対象

バリアフリー対応：手話通訳



2025 冬

読み聞かせや、アニメーションを実施しました。

会期：2025年2月2日(日)

10:20-11:20/13:30-14:00

会場：会場：1fオープンスクエア、スタジオ b

入場・参加者数：161名

入場料等：無料、幼児 - 小学生程度が対象

バリアフリー対応：手話通訳



2-2-3

**手話による読み聞かせボランティア
養成講座2024**

講師に池田亜希子氏(明晴学園早期支援プログラムめだか)を招き、「まほうの手」として活動する新しいメンバーを対象とした養成講座を実施しました。

会期：2024年9月22日(日・祝)、
9月29日(日) 各日10:00-12:00

会場：7fスタジオ a、b

入場・参加者数：17名

入場料等：無料



+

2-2-4

**手話読み聞かせステップアップ
講座**

講師に池田亜希子氏を招き、「まほうの手」を対象に技術講座をおこないました。

会期：2024年9月21日(土)、
9月22日(日)、9月28日(土)
各日13:00-16:00

会場：7fスタジオ a、b

入場・参加者数：26名



+

2-2-5

**smtシネマ 映像音響ライブラリーDVD上映会
(音声解説・日本語字幕つき)**

小さな子ども連れのご家族も、障害のある方も楽しめる上映会を実施しました。午前中は上映中の声出しOK、音声解説を会場内スピーカーから流しました。会場内は完全に暗くせず、上映中の入退場自由としました。

[イベント]

『コーダ／あいのうた』

耳が聞こえない家族とその“通訳”として生きる少女の絆を描く映画「コーダ／あいのうた」を上映しました。

会期：2024年11月29日(金)

10:00-/14:00-

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者等：94名

入場料等：無料

『桜色の風が咲く』

世界で初めて盲ろう者の大学教授となった福島智氏と母・令子氏の実話を基に描いた映画「桜色の風が咲く」を上映しました。

会期：2025年2月28日(金)

10:00-/14:00-

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者等：107名

入場料等：無料

『もうろうをいきる』

目が見えず耳も聞こえない盲ろう者達の日常を追ったドキュメンタリー「もうろうをいきる」を上映しました。

会期：2025年2月4日(火)

10:00-/14:00-

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者等：72名

入場料等：無料

2-2-6

スウプノアカデミア2024

スウプノアカデミアは、障害のある人の「まなび」の場を考えるプロジェクトです。学びたい本人が「好きなこと」「やってみたいこと」「学びたいこと」からテーマを決め、講座やワークショップなどのプログラムを企画しました。

※文部科学省「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」(仙台市・生涯学習を通じた共生社会推進事業)の一環として実施しました。

会期：通年

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記

主催：仙台市教育委員会

共催：せんだいメディアテーク

企画・運営：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン

[イベント]

まなびを考える会

今の自分が「好きなこと」や「気になること」は何か、やってみたくと思う理由、誰とどこで、どんなふうに学びたいか、参加者がワークシートを使って話しあいました。今年度は社会教育主事講習を受講した教員たちが「まなびを考える会」に参加したことをきっかけに、その後のプログラムづくりにも伴走しました。

会期：2024年7月14日(日)、

7月27日(土) 各日14:00-16:00

会場：7fスタジオb、オンライン

入場・参加者数：44名

入場料等：無料、障害のある人で18歳以上の方が対象(障害の種類、障害者手帳の有無は問わない)



イヤな体験と、みんなの折り合い

—ゆるやかな癒し方—

悩み事とその付き合い方をテーマに、個々人の抱えている気持ちを言葉にして共有する時間を作りました。これまで体験した出来事や日々の暮らしの中で感じたことを参加者同士で共有し、違いを見つけたり励ましあったりする時間となりました。

会期：2024年10月13日(日)

14:00-16:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：29名

入場料等：無料、障害のある人で18歳以上の方が対象(障害の種類、障害者手帳の有無

は問わない)※18歳未満でも学校卒業後の校外の活動に興味のある方、障害がなくてもテーマに関心のある方は参加可能



ワクワク妄想旅行会

—理想の旅プランを立てよう

旅をテーマに、発案者からヨーロッパ旅行の体験談を聞いたり、参加者それぞれに架空の旅行プランを考えるワークをしたりしました。調べたり想像したりしたことを話して、自分の世界を広げる機会になりました。

会期：2024年12月15日(日)

14:00-16:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：25名

入場料等：無料、障害のある人で18歳以上の方が対象(障害の種類、障害者手帳の有無は問わない)※18歳未満でも学校卒業後の校外の活動に興味のある方、障害がなくてもテーマに関心のある方は参加可能



2-2-7

共に学び、生きる共生社会コンファ レンス in 仙台

障害のある人と芸術文化活動をおこなう団体や活動の紹介、展示等をおこなう「きいて、みて、して、見本市。」の中で、障害当事者による活動と運動のこれまでを振り返りながら、「障害のある人もない人も共に学ぶ場」づくりについて語り合いました。

会期：2025年2月1日(土)

10:00-16:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：922名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記

主催：仙台市教育委員会、
文部科学省

共催：せんだいメディアテーク

後援：宮城県教育委員会

企画・運営：特定非営利活動法人
エイブル・アート・ジャパン

協力：文部科学省委託事業令和6
年度「学校卒業後における障害者の
学びの支援推進事業」仙台市・生
涯学習を通じた共生社会推進事業



2-2-8

見えない人とつくるおしゃべり鑑賞 会

全盲のファシリテーター白石真美氏と堀内豊氏とともに、メディアテークでおこなわれた展覧会「椎名勇仁 可塑圏：ねん土的思考」(前掲)を鑑賞しました。その中で、参加者が選んだ5つの作品について対話を重ね、鑑賞後は振り返りをおこないました。立場に関係なく、誰かと見ることや感じたことを言葉にすることで参加者それぞれの感覚が広がる時間となりました。

会期：2024年12月8日(日)、

12月15日(日) 各日11:30-13:00

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：24名

入場料等：展覧会と同じ

ファシリテーター：白石真美氏、
堀内豊氏



情報保障・託児サービス等の取り組み

各事業において、あらゆる人が参加しやすい環境づくりとして、手話通訳、要約筆記、託児サービス等を実施しました。

[一覧]**手話通訳・要約筆記つき事業**

- ・鷲田清一とともに考える …参照：1-4
- ・ショートピース! 仙台短篇映画祭 2024 …参照：1-7
- ・手ではなすおはなしの会 2024 …参照：2-2-2
- ・手話による読み聞かせボランティア養成講座 …参照：2-2-3
- ・手話読み聞かせステップアップ講座 …参照：2-2-4
- ・スウプノアカデミア 2024 …参照：2-2-6
- ・共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 仙台 …参照：2-2-7

リラックス上映、託児サービスつき事業

- ・映像の仙台史4 …参照：1-5-1
- ・映像音響ライブラリーDVD 上映会 …参照：2-2-5
- ・おとなとこどものてつがくカフェ …参照：1-8

障害のある人の芸術文化活動への参画と関連事業

- ・手ではなすおはなしの会 2024 …参照：2-2-2
- ・スウプノアカデミア 2024 …参照：2-2-6
- ・共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 仙台 …参照：2-2-7
- ・見えない人とつくるおしゃべり鑑賞会 …参照：2-2-8

乳幼児親子対象の催し

- ・メディアテーク de ちびぱーく …参照：4-2-2
- ・おとなとこどものてつがくカフェ プレ・ミーティング …参照：1-8

視聴覚障害者ライブラリー

- ・としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示 …参照：2-2-1
- ・視聴覚障害者情報ライブラリー（バリアフリー・ライブラリー） …参照：5-2

1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 ライブラリー・サービス

6 本・DVD等の発行物

7 イベント一覧(時系列)

8 施設運営

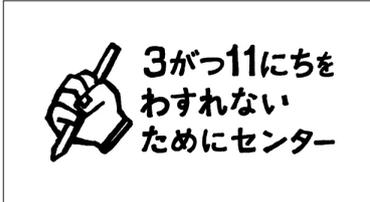
+

+

3

3-1

3がつ11にちをわすれないために センター



2011年度から継続して、市民、専門家らとの協働により、東日本大震災に関する写真・映像・音声・文章を記録・発信し、利活用する事業です。略称は「わすれん!」。年間を通して、それぞれの参加者が記録活動および配信イベント等をおこないました。それらの記録をもとにスタッフがウェブサイトでの記録公開、「星空と路」での記録展示などを実施しました。

3-1-1

星空と路 —3がつ11にちをわすれないために—

「3がつ11にちをわすれないためにセンター」参加者の活動を紹介する展示、イベントを実施しました。今年度は、関連展示として、東日本大震災とコロナ禍の2つの災禍を取り上げ、それぞれの災禍におけるまちなかの写真も展示しました。

会期：2025年3月11日(火)- 3月16日(日) 各日10:00-18:00(前期)、
3月18日(火)- 4月20日(日)各日9:00-22:00(後期)
会場：1f オープンスクエア(前期)、7fラウンジ・スタジオa(後期)
入場・参加者数：15,175名
入場料等：無料

[プロジェクト]

崩落した3月(高橋親夫氏)

ゆるくフラットに震災について語る会(近藤日和氏、清水葉月氏)

Oshika Peninsula Rephotographed(Gary Mcleod氏)

インタビューシート

道のりシート(協働：宮本匠氏)、

大川小学校とことば(佐藤敏郎氏)

3.11 あのとときのホント(橋本武美氏)

東北と復興を考える(自由の森学園高校 選択授業「東北と復興」メンバー)

[関連プロジェクト]

まちなかの距離感 —2011年と2020年の仙台(3.11オモイデアーカイク／佐藤正実氏)

災禍の体験を語るということ—コロナ禍と東日本大震災(お茶の水女子大学の学生有志、丹羽朋子氏 Dialogue／Research／Trip)



+

[関連事業]

わすれん!記録活動ミーティング—能登から／能登へ— (後述)

会期：2025年3月15日(土)14:00-16:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：35名

入場料等：無料

+

3-1-2

常設展示「わすれん!資料室」

メディアテーク2fの映像音響ライブラリー内において、わすれん!に寄せられたさまざまな記録資料を手にとれる形で公開しています。本年度は、学校の定点観測写真の展示替えをおこなったほか、新たに気仙沼・石巻・女川・名取・仙台の5都市の定点観測写真を追加しました。また、昨年度から開始した来館者一人ひとりの体験を綴る「インタビューシート」は1年間で238枚が新たに追加され、579の体験談が集まりました(2025年3月31日現在)。

会期：通年

会場：メディアテーク2f「わすれん!資料室」内



3-1-3

外部機関への主な協力出展等

「第9回若林・宮城野シーサイドマラソン」への展示協力

コース全域が津波の被災エリアであることが特徴の「若林・宮城野シーサイドマラソン」にて、会場の一角で開催された「マラソンコース近辺の震災前の写真展」に写真資料の提供をおこないました。また「インタビューシート」を貸し出し、現地で震災体験の収集もおこないました。

会期：2024年12月1日(日)

会場：「若林・宮城野シーサイドマラソン」会場内

「仙台防災未来フォーラム2025」への出展

「インタビューシート」と関連資料の展示、およびリーフレットの配布等をおこないました。

会期：2025年3月8日(土)9:30-16:30

会場：仙台国際センター展示棟

3-2

コミュニティ・アーカイブ・ ラボラトリー



地域や関心・属性などさまざまなコミュニティについて、そこに関わる人々が中心となり記録・収集する取り組みを「コミュニティ・アーカイブ」と呼び、その意味や可能性について探る仮想の研究室です。今年度は、東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京「Tokyo Art Research Lab コミュニティ・アーカイブ・ミーティング——能登・仙台・東京」に参画し、能登半島地震・豪雨災害後におけるアーカイブ活動に伴走するべく情報提供・意見交換をしたほか、地域資料の活用事例をひろげる試作に取り組みました。

+

+

3-3

仙台にまつわる映像や写真などの収集・整理とデジタル化を進め、主催事業やサービスを通じて広く一般に公開しました。

地域資料の収集

3-3-1

資料の収集・整理

個人・団体からの提供、当館で調査した映画フィルムや写真のデジタル化を進めました。また、過去に仙台市が企画・制作した映画等のデジタルデータの収集をおこないました。

(収集・整理した主な資料)

- ・1960～1990年代に仙台市広報課が撮影した写真
- ・映画「秋保町湯元の田植踊」「杜の都の地下鉄」
- ・市民から提供された8ミリフィルム等



3-3-2

資料の活用

特集上映『映像の仙台史4』(前掲)の実施や、各種サービスを通じての資料提供、教育・報道利用等のためのレファレンスに対応し、デジタル化した資料の活用促進に努めました。また、生涯学習機関での事業に使われました。

[主な活用例]

「『映像の仙台史』資料の講座活用に関する研修」への協力

公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団の市民センター担当職員を対象とした研修の一環として、当館所蔵の地域映像資料を活用した講座企画の立案について講義をおこないました。

会期：2024年5月29日(水)

会場：仙台市戦災復興記念館

「仙台自分づくり教育 中学校における職場体験活動」でのプログラム

中学生の体験プログラムとして、アーカイブ資料のなかから生徒の学区内の写真を調査・選定する仕事をおこない、その成果をウェブサイトで公開しました。

3-4

コミュニティ・アーカイブの 仙台モデル事業

これまでも「3がつ11にちをわすれないためにセンター」や「どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ」など、市民参加型のアーカイブ活動について取り組んできましたが、アーカイブ活動の方法や知識が更新されるなか、あらたな方法論を確立するための調査や実践をおこないました。

[関連企画]

星空と路 関連イベント わすれん!記録活動ミーティング

—能登から／能登へ—

わすれん!の資料の海に飛び込んで新たな可能性を探った「ダイブわすれん!」(2022年)に参加し、能登の震災後もいち早くアーカイブの構想を進めているキュレーター／アーキビストの明貫紘子氏をコーディネーターに迎え、能登半島地震・豪雨災害の現場でアーカイブ活動の一端に触れ、東日本大震災の経験を生かしながら課題を分かち合う場を設けました。

[ゲスト]坂口歩氏(金沢美術工芸大学学生／グラフィックデザイナー)、
新谷健太氏(水を温める人)、岡田有紀氏(フリーライター／編集者)、
川田創士氏(一般社団法人Code for Noto 理事／CTO)、
松田咲香氏(写真家)

会期：2025年3月15日(土)14:00-16:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：35名

入場料等：無料



1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 ライブラリー・サービス

6 本・DVD等の発行物

7 イベント一覧(時系列)

8 施設運営

+

+

4

4-1

仙台・宮城ミュージアムアライアンス (SMMA)

仙台・宮城地域の多様なミュージアムが連携する組織「仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)」。当館を会場にSMMA参加館が集合し、各館の特色を生かした企画でミュージアムの楽しさを伝えるイベント「ミュージアムユニバース」を開催しました。展示やワークショップのほか、結成15周年にあたり、これまでの活動を映像や出版物を通して振り返るコーナーも設けました。

令和6年度参加館数：16館

[イベント]

ミュージアムユニバース

深海魚の標本や昭和27年の拡大仙台市街地図など市内ミュージアムの所蔵資料ほか、各館の取り組みを紹介しました。会期中の土日には工作や染色などの体験プログラムと、水族館や歴史の専門員によるトークを実施しました。

会期：2024年12月20日(金)-12月23日(月) 各日10:00-18:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：2,756名

入場料等：無料

主催：仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)



[関連企画]

ミュージアムユニバースでおこなった各館プログラムの中から、当館参加企画を紹介します。

**都市計画から読み解く街の過去と
ありえたかもしれない現在**

仙台市の戦後の都市計画について、過去に違う選択をしたら都市の風景はどうなっていたか、仮想画像を作成した佐藤信夫さんにお話をうかがうトークを実施しました。あわせて、仮想風景と現在の風景を比較する写真展示をおこないました。

会期：2024年12月22日(日)

14:30-16:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：55名

入場料等：無料

出演：佐藤信夫氏(地域史研究家)、
小山悠(せんだいメディアテーク)



**たてものかんたんガイド
(ミュージアムユニバース)**

会期中、メディアテークのガイドツアーをおこないました。各階を歩きながら、建築の特徴や普段は見ることのできないバックヤード等の案内をしました。

会期：2024年12月22日(日)

11:00-11:40/14:00-14:40

会場：1fオープンスクエアほか

入場・参加者数：23名

入場料等：無料



4-2

定禅寺通イベント共催事業等

定禅寺通に面した施設として、ストリートと一体化したスペースにもなる1fオープンスクエアを活用し、屋外でおこなわれるさまざまなイベントと連携する事業です。

4-2-1

七夕ひろば

仙台七夕まつりの開催にあわせて、昔の仙台七夕の様子を写真や映像で紹介したほか、七夕まつりの歴代ポスターと「ワケあり雑がみ部」(前掲)で制作した七夕飾りを展示しました。また、市内のミュージアムを中心とした観光インフォメーションコーナーを設置しました。

会期：2024年8月3日(土)-8月8日(木) 各日10:00-18:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：2,093名

入場料等：無料

協力：仙台七夕まつり協賛会、風の時編集部



[関連企画]

たてものかんたんガイド

(七夕ひろば)

会期中、メディアテークのガイドツアーをおこないました。各階を歩きながら、建築の特徴や普段は見ることのできないバックヤード等の案内をしました。

会期：2024年8月3日(土)、8月4日(日)、8月6日(火)

各回10:30-14:10

会場：1fオープンスクエアほか

入場・参加者数：18名

入場料等：無料



+

4-2-2

メディアテーク de ちびパーク

乳幼児親子を対象とした自由に過ごすこどもの遊び場を作りました。マットスペースや企画ブースのほか、「子育て情報ステーション」などを設けました。

会期：2024年12月16日(月)、12月17日(火) 各日10:30-15:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：288名

入場料等：無料

共催：西公園プレーパークの会、

仙台市子育てふれあいプラザ(のびすく仙台)

協力：特定非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク、
仙台市民図書館

+



4-2-3

とっておきの音楽祭2024(せんだいメディアテーク会場)

6月に定禅寺通を中心に開催される、「とっておきの音楽祭」。合言葉は「みんながってみんないい」。障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ音楽のチカラで「心のバリアフリー」を目指す音楽祭です。

会期：2024年6月2日(日) 10:30-17:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：593名

入場料等：無料

主催：NPO 法人とっておきの音楽祭 とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI

共催：せんだいメディアテーク



[関連企画]

スペシャルライブ

音楽祭のプレ企画としてスペシャルライブと参加者ミーティングを開催しました。

会期：2024年4月21日(日)

13:00-14:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：331名

入場料等：無料



4-2-4

仙台・青葉まつり「お祭り広場」(せんだいメディアテーク会場)

「仙台・青葉まつり」の歴史紹介展示をおこない、市民広場会場の様子を映像配信でお届けしました。

会期：2024年5月18日(土)12:00-20:00(宵まつり)、

5月19日(日)10:00-16:00(本まつり)

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：1,340名

入場料等：無料

主催：仙台・青葉まつり協賛会

共催：せんだいメディアテーク



4-2-5

定禅寺ストリートジャズフェスティバル(せんだいメディアテーク会場)

「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」は、市民手作りの音楽祭。のべ2日間で70万人を超える観客を動員する、日本屈指の音楽フェスティバルです。せんだいメディアテーク会場では、22グループが演奏しました。

会期：2024年9月7日(土)、9月8日(日) 各日 11:00-20:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：7,192名

入場料等：無料

主催：公益社団法人定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会

共催：宮城県、仙台市、せんだいメディアテーク



[関連企画]

定禅寺ジャズフェスミーティング

本祭を前に、市民の方々とプレイヤー、ボランティア、実行委員の交流を目的としたプレイイベントを開催しました。

会期：2024年7月14日(日)

12:00-16:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：254名

入場料等：無料



4-3

学校との取り組み

小中学校をはじめさまざまな学校による館内見学を案内したほか、職場体験活動の一環として仙台市内の中学生の受け入れました。また、学芸員課程で学ぶ大学生の博物館実習をおこないました。そのほか、県内の図工・美術科の学校教員を対象とした研修会に職員を派遣・発表しました。

学校見学：46校

博物館実習：5校

+

4-4

仙台市民図書館との取り組み

仙台市民図書館と連携して行うさまざまな取り組み。

+

[イベント]

としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示(再掲)

メディアテークと仙台市民図書館が持っているバリアフリー資料の紹介をおこないました。

1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	ライブラリー・サービス
6	本・DVD等の発行物
7	イベント一覧(時系列)
8	施設運営

+

+

5

5-1

映像音響ライブラリー

資料点数 16,194点
貸出点数 51,178点
新規登録者数 517名

+

5-2

視聴覚障害者情報ライブラリー
(バリアフリー・ライブラリー)

資料点数 4,940点
貸出点数 2,489件
対面朗読件数 142件
音訳・点訳件数 18件
音声読み上げパソコン利用件数 0件
音訳制作件数 16タイトル
(DAISY資料10タイトル、メディアテーク資料[情報誌等]6タイトル)
点訳制作件数 23タイトル
(視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」登録17タイトル、メディアテーク資料
[情報誌等]6タイトル)

+

5-3

インターネットを通じた資料提供

2020年度から開設しているYouTubeチャンネル「せんだいメディアテーク・オンライン」にて事業の記録などを公開したほか、当館ウェブサイト上で画像資料を閲覧できるページを新たにし、収集した写真を公開しました。

YouTube「せんだいメディアテーク・オンライン」

せんだいメディアテーク公式ウェブサイト内「アーカイブ>>画像」



1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 ライブラリー・サービス

6 本・DVD等の発行物

7 イベント一覧(時系列)

8 施設運営

+

+

6

6-1

書籍や報告書等の印刷物

『可塑圏 椎名勇仁』(書籍/発売 T&M Projects/価格 3200円+税)

『アートノード・ジャーナル 12号』(タブロイド紙/無料)

『smtデザインのひみつ』(リーフレット/無料)

+

6-2

DVDメディア等の映像音響資料

主催・共催事業の記録映像、スタジオを拠点とした市民グループ等との協働による映像、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の活動を通じて制作された映像などをDVD・CDパッケージにし、「smtコレクション」として発行。映像音響ライブラリーで公開したほか、ライブラリー利用登録者にとどまらず、内外の報道、研究、上映会等のために貸し出しました。

+

主催・共催事業の記録

[DVD] 仙台市地下鉄～南北線建設の記録～

[DVD] 鷺田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 6じかんめ「適当」

[DVD] 鷺田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 7じかんめ「誠実」

[DVD] 地域とアヴァンギャルドー戦後前衛芸術の聖地/仙台市太白区太子堂 トークイベント「太子堂と糸井家の記憶」

[DVD] 鷺田清一とともに考える 最終回

地域文化デジタル事業制作物

- [DVD] 民話 声の図書室 福島県相馬郡新地町の小野トメヨの語り[1]
- [DVD] 民話 声の図書室 福島県相馬郡新地町の小野トメヨの語り[2]
- [CD] 民話 声の図書室 栗原市一迫の佐藤玲子の語り[1]
- [CD] 民話 声の図書室 栗原市一迫の佐藤玲子の語り[2]
- [CD] 民話 声の図書室 栗原市一迫の佐藤玲子の語り[3]
- [CD] 民話 声の図書室 栗原市一迫の佐藤玲子の語り[4]
- [CD] 民話 声の図書室 栗原市一迫の佐藤玲子の語り[5]
- [CD] 民話 声の図書室 栗原市一迫の佐藤玲子の語り[6]
- [DVD] 仙台—美術の場と記録— 中本誠司現代美術館(1980-)

せんだい・アート・ノード・プロジェクトの記録

- [DVD] MEETING アートノード・ミーティング12 川俣正「仙台インプログレス」2024 報告
- [DVD] TALK 女川の海風～ひと、まち、そして原発のある暮らし
- [DVD] 資源循環の杜へ せんだいリブートデイ ～ただいま再起動中～モノのおみおくり/廃棄とものがたりについて～ワールドおさがりセンターの実践～
- [DVD] 資源循環の杜へ せんだいリブートデイ ～ただいま再起動中～資源循環と協働の場所・コミュニティをどうやって作る？

6-3

紙やインターネットを通じた
定期発行等

「催し案内」(印刷物/毎月/PDF版をウェブサイトで公開)

「けやき通り通信」(印刷物/隔月)

「せんだいメディアテーク・メールニュース」

(メール配信/毎月/登録者2,431名)

「せんだいメディアテーク・オンライン」(映像/毎月/ウェブサイトに公開)

ウェブサイト(アクセス総数1,076,165件)

+

6-4

その他常備している印刷物

総合案内(日本語版/英語版/フランス語版/中国語版/韓国語版)

総合案内(目や耳の不自由なかたへ)

総合案内(車椅子アクセス)

貸出施設利用案内

せんだいメディアテーク建築ガイド(日本語版/英語版)

3がつ11にちをわすれないためにセンターってなに?(日本語版/英語版)

smtデザインのひみつ

+

1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	ライブラリー・サービス
6	本・DVD等の発行物
7	イベント一覧(時系列)
8	施設運営

+

+

7

2024年度イベント一覧(時系列)

※開始日のみ掲載

4/21	上演	とっておきの音楽祭2024 スペシャルライブ
4/27	展覧会	第13回 どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ—
4/27	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第26回公開ミーティング
5/11	ワークショップ	手ではなすおはなしの会2024春
5/12	上映、トーク	みやぎシネマクラドル 第20回映像サロン 「自分の生き様を貫く—あるロックミュージシャンを撮り続けて—」
5/18	展覧会、その他	第40回仙台・青葉まつり「お祭り広場」(せんだいメディアテーク会場)
5/19	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第27回公開ミーティング
5/25	ワークショップ	おとなとこどものてつがくカフェ プレ・ミーティング
6/1	展覧会、その他	ミニ展示「結婚の定義」メッセージ募集—あなたの「結婚指輪エピソード」教えてください!
6/2	上演	とっておきの音楽祭2024
6/7	ワークショップ	[アート・ノード]ワケあり雑がみ部
6/22	上映	映像の仙台史4
6/29	トーク	鷲田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 6じかんめ「適当」
6/30	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第28回公開ミーティング
7/1	展覧会	[アート・ノード]展示で雑がみ部 Vol.7 Chikako
7/7	ワークショップ	手ではなすおはなしの会ミニ
7/12	ワークショップ	[アート・ノード]せんだいレポート「サーキュラーファイトクラブ」
7/14	上演	定禅寺ジャズフェスミーティング
7/14	ワークショップ	スウプノアカデミア2024「まなびを考える会」
7/22	ワークショップ	[アート・ノード]社会实践ポストボン「ご精算先送りワーキンググループ」

7/25	トーク	[アート・ノード] 社会実践ポストボン 関連トーク①笹原晃平+若林緑
7/26	トーク	[アート・ノード] 社会実践ポストボン 関連トーク②笹原晃平+山本浩貴
7/27	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第29回公開ミーティング
8/2	ワークショップ	[アート・ノード] 川俣正/仙台インプロGRESS みんなの橋(テンポラリー)再制作
8/3	展覧会、その他	七夕ひろば
8/3	その他	たてものかんたんガイド(七夕ひろば)
8/4	ワークショップ	[アート・ノード] 川俣正/仙台インプロGRESS 《井土浜テラス》《井土の井戸》の制作
8/6	展覧会	報告展 ユースてつがくカフェ それぞれのかたち
8/10	トーク	[アート・ノード] アートノード・ミーティング12 川俣正「仙台インプロGRESS」2024 報告
8/17	トーク	[アート・ノード] 女川の海風—ひと、まち、そして原発のある暮らし
8/18	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第30回公開ミーティング
8/24	ワークショップ	てつがくカフェ読書会「体験を言葉にすること—『戦争語彙集』を読む」
9/7	上演	定禅寺ストリートジャズフェスティバル(せんだいメディアテーク会場)
9/15	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第31回公開ミーティング
9/21	ワークショップ	手話読み聞かせステップアップ講座
9/21	上映	ショートピース! 仙台短篇映画祭2024
9/22	ワークショップ	手話による読み聞かせボランティア養成講座2024
9/28	トーク	鷲田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 7じかんめ「誠実」
9/29	ワークショップ	[アート・ノード] PARKING A30 大縁会
10/6	ワークショップ	『青葉繁れる』読書会(いま見る/読む『青葉繁れる』関連)
10/12	その他	smtこどもガイド
10/13	ワークショップ	スウプノアカデミア2024「イヤな体験と、みんなの折り合い—ゆるやかな癒し方—」

10/19	上映、トーク	いま見る／読む『青葉繁れる』
10/19	展覧会	地域とアヴァンギャルド—戦後前衛芸術の聖地／仙台市太白区太子堂
10/20	ワークショップ	展示解説ツアー（展覧会「地域とアヴァンギャルド」関連）
10/20	ワークショップ	活版印刷ワークショップ
10/26	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第32回公開ミーティング
11/2	展覧会	椎名勇仁 可塑圏：ねん土の思考
11/9	展覧会、ワークショップ	ギャラリーツアー（展覧会「椎名勇仁 可塑圏：ねん土の思考」関連）
11/9	トーク	ゲストトーク①(展覧会「椎名勇仁 可塑圏：ねん土の思考」関連)
11/10	ワークショップ	手ではなすおはなしの会2024秋
11/23	ワークショップ	てつがくカフェplus「無駄な時間」について考える
11/24	ワークショップ	てつがくカフェ読書会「体験を言葉にすること—『戦争語彙集』を読む」
11/27	トーク	[アート・ノード]想像力を通じて、風景を変容させる
11/29	上映	smtシネマ 映像音響ライブラリーDVD上映会『コーダ／あいのうた』(音声解説・日本語字幕つき)
12/1	トーク	トークイベント「太子堂と糸井家の記憶」(展覧会「地域とアヴァンギャルド」関連)
12/8	ワークショップ	見えない人とつくるおしゃべり鑑賞会(展覧会「椎名勇仁 可塑圏：ねん土の思考」関連)
12/8	トーク	[アート・ノード]西公園で猫の小林さんを想像する
12/14	ワークショップ、トーク	[アート・ノード]資源の杜へ せんだいリポートデー—ただいま再起動中—
12/14	トーク	[アート・ノード]トークイベント「モノのおみおくり／廃棄とものがたりについて—ワールドおさがりセンターの実践—」(「資源の杜へ せんだいリポートデー」関連)
12/15	トーク	[アート・ノード]トークイベント「資源循環と協働の場所・コミュニティをどうやって作る?」(「資源の杜へ せんだいリポートデー」関連)
12/15	ワークショップ	スウプノアカデミア2024「ワクワク妄想旅行会—理想の旅プランを立てよう」
12/16	ワークショップ	メディアテーク de ちびばーく

12/20	展覧会、ワークショップ	ミュージアムユニバース
12/21	トーク	ゲストトーク②(展覧会「椎名勇仁 可塑圏：ねん土的思考」関連)
12/22	その他	たてものかたんガイド(ミュージアムユニバース)
12/22	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第33回公開ミーティング
12/22	トーク	都市計画から読み解く街の過去とありえたかもしれない現在(ミュージアムユニバース)
1/11	ワークショップ	てつがくカフェplus「日常と非日常」を考える
1/19	トーク	トークイベント「糸井貫二資料調査進捗報告会」(展覧会「地域とアヴァンギャルド」関連)
1/31	展覧会、ワークショップ	第7回障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市「きいて、みて、して、見本市。」 (としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示)
2/1	ワークショップ、トーク	共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 仙台
2/2	ワークショップ	手ではなすおはなしの会2025冬
2/4	上映	smtシネマ 映像音響ライブラリーDVD上映会『もうろうをいきる』(音声解説・日本語字幕つき)
2/11	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第34回公開ミーティング
2/15	ワークショップ	小さなゆうわ座 海と暮らしてきた人たちの話—寒風沢島の「古げたのおぼけ」から考える—
2/16	ワークショップ	第93回てつがくカフェ「体験を言葉にすること—『戦争語彙集』から考える」
2/28	上映	smtシネマ 映像音響ライブラリーDVD上映会『桜色の風が咲く』(音声解説・日本語字幕つき)
3/1	展覧会	[アート・ノード]川俣正/仙台インプログレス 報告展2024
3/9	その他	せんだいデザインリーグ2025卒業設計日本一決定戦 公開審査
3/9	展覧会	せんだいデザインリーグ2025卒業設計日本一決定戦 作品展示
3/9	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第35回公開ミーティング
3/11	展覧会	[わすれん!]星空と路—3がつ11にちをわすれないために—
3/15	ワークショップ	[わすれん!]わすれん!記録活動ミーティング—能登から/能登へ—(展覧会「星空と路」関連)

3/16 ワークショップ 第94回てつがくカフェ「小さな声を重ねる—震災から14年が経過して」

3/23 トーク 鷺田清一とともに考える 最終回

+

+

1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 ライブラリー・サービス

6 本・DVD等の発行物

7 イベント一覧(時系列)

8 施設運営

+

+

8

8-1 施設概要

所在地：仙台市青葉区春日町2番1号

敷地面積：3,949㎡

構造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造地下2階地上7階建

延床面積：21,682㎡

総工費：約130億円

設計：株式会社伊東豊雄建築設計事務所

・開館時間

せんだいメディアテーク：9時から22時まで(階により異なる)

仙台市民図書館・映像音響ライブラリー：9時30分から20時まで

(土曜・日曜・休日は18時まで)

・休館日

せんだいメディアテーク：保守点検日(1月から11月までの第4木曜日)、年末年始(12月29日から1月3日)

仙台市民図書館・映像音響ライブラリー：月曜(休日を除く)、休日の翌日、保守点検日(1月から11月までの第4木曜日、ただし休日に当たるときは開館しその翌日が休館)、年末年始(12月28日から1月4日)、特別整理期間

・お問い合わせ

Tel: 022-713-3171 Fax: 022-713-4482

Web: www.smt.jp/

E-mail: office@smt.city.sendai.jp

企画・活動支援室 Tel: 022-713-4483

映像音響ライブラリー Tel: 022-713-4486

バリアフリー Tel: 022-713-4484

・主な施設内容

地下2階 書庫、収蔵庫、機械室

地下1階 駐車場、書庫

1階プラザ(定禅寺通に開かれた屋内型公開空地、オープンスクエア、カフェ、ショップ)

2階ライブラリー(映像音響資料、児童書、新着新聞雑誌等の閲覧、目や耳の不自由な方の相談カウンター)

3・4階ライブラリー(仙台市民図書館)

5階ギャラリー 3300(固定壁面を中心とする天井高3,300mmの展示空間)

6階ギャラリー 4200(可動壁面で自由に構成できる天井高4,200mmの展示空間)

7階スタジオ(施設貸出・相談窓口、スタジオシアター、各種スタジオ)

・組織

所管 仙台市教育委員会生涯学習部生涯学習課

指定管理者 公益財団法人仙台市民文化事業団(図書館は仙台市直営)

館長：鷲田清一

副館長：天野美紀

アーティスティック・ディレクター：甲斐賢治

管理課長

総務係長…総務係4名(係長含)

施設マネジメント係長…施設マネジメント係7名(係長含)

情報資料係長…情報資料係10名(係長含)

企画・活動支援室長

企画事業係長…企画事業係7名(係長含)

活動支援係長…活動支援係6名(係長含)

地域文化アーカイブ係長…地域文化アーカイブ係6名(係長含)

(45名 令和6年[2024年]6月時点)

8-2 沿革

平成元年(1989年)宮城県芸術協会が大型ギャラリーを中心とした美術館建設の要望書提出。

平成4年(1992年)定禅寺通に図書館を併設した市民ギャラリーを建設する方針が定まる。

平成6年(1994年)市民ギャラリー、図書館、映像メディアセンター、視聴覚障害者のための情報提供施設の機能を併せ持つ芸術文化施設とすることが決まる。

平成7年(1995年)設計競技により、伊東豊雄建築設計事務所が選ばれる。

平成9年(1997年)12月着工。

平成12年(2000年)8月竣工。

平成13年(2001年)1月26日開館。仙台ひと・まち交流財団が管理(図書館は仙台市直営)。

グッドデザイン大賞受賞。

平成16年(2004年)仙台ひと・まち交流財団を指定管理者として指定。

平成19年(2007年)業務移管により、仙台市市民文化事業団を指定管理者に指定。

平成20年(2008年)館内フロアレイアウトを一部変更。

平成23年(2011年)開館10周年。地域創造大賞受賞。東日本大震災により休館。

5月3日から一部再開し、翌年1月27日に全館再開。

平成25年(2013年)館長に鷺田清一(哲学者)が就任。

令和3年(2021年)開館20周年。

令和4年(2022年)照明設備等の改修工事を実施。

8-5 仙台市メディアテーク条例

次ページ以降に掲載。

8-3 収支

令和6年度

(1)収入の部

指定管理料 641,142千円

事業収入(企画事業、受託事業を含む) 48,229千円

《内訳》

・補助金 35,041千円

・各種助成金 9,500千円

・入場料等 1,288千円

・受託事業収入 0円

・仙台市市民文化事業団自主財源 770千円

・負担金収入 2,400千円

(2)支出の部

管理運営費(施設の維持管理、情報サービス事業を含む)

..... 641,142千円

事業費(企画事業、受託事業を含む) 48,229千円

8-4 施設使用実績

施設	貸出単位	利用日(週)数/開館日(週)数	日(週)数ベース利用率	利用者数
5階ギャラリー	週	46 / 46	100.0%	85,985
6階ギャラリー	週	42 / 51	82.4%	81,267
オープンスクエア	日	206 / 332	62.0%	66,881
スタジオシアター	1日3区分	167 / 339	49.3%	17,544
2階会議室	1日3区分	271 / 344	78.8%	3,372
7階会議室	1日3区分	328 / 345	95.1%	7,405
プラザ控室 a	1日3区分	170 / 348	48.9%	522
プラザ控室 b	1日3区分	182 / 348	52.3%	1,153
託児室	1日3区分	9 / 348	2.6%	7

使用料等徴収額 55,467千円

*5 / 6階ギャラリーは週数ベース

平成一二年三月一七日

仙台市条例第二三号

(設置)

第一条 様々な記録媒体(以下「メディア」という。)による情報を収集し、保管し、及び提供して、市民の自主的な情報の検索、閲覧、記録、発信等の活動を支援するとともに、美術・映像文化の創造又は普及の場を提供し、もって市民の生涯学習の振興に資するため、メディアテークを設置する。

(名称及び位置)

第二条 メディアテークの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
せんだいメディアテーク	仙台市青葉区春日町二番一号

(事業)

第三条 メディアテークは、次に掲げる事業を行う。

- 一 メディアを活用した生涯学習及び文化活動に係る情報・資料の収集、調査研究及び普及啓発に関すること
- 二 美術・映像に係る情報・資料の収集及び提供に関すること
- 三 美術・映像に係る展覧会、講習会その他の催しに関すること
- 四 美術・映像に係る作品の展示又は上映のために施設を提供すること
- 五 視聴覚障害者の情報活動支援に関すること
- 六 その他第一条の目的を達成するために必要と認められる事業

(使用の許可)

第四条 別表に掲げるメディアテークの施設を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 メディアテークの管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 前二号に掲げるもののほか、教育委員会が不相当と認めるとき

(使用料)

第五条 メディアテークの使用料は、別表に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際、納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

3 前項の規定にかかわらず、駐車場の使用料は、出庫の際、納入しなければならない。

(平一五、七・改正)

(使用料の額の特例)

第五条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第一項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき(使用料が既納の場合を除く。)は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

- 一 天災その他自己の責めによらない事由によりメディアテークの施設を使用できないとき
- 二 市長が別に定める期間内にメディアテークの施設の使用の取りやめを申し出たとき

(平一五、七・追加)

(使用料の返還)

第六条 既納の使用料は、返還しない。ただし、使用者につき前条各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(平一五、七・改正)

(使用料の減免)

第七条 市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(目的外使用の禁止)

第八条 使用者は、許可を受けた目的以外にメディアテークを使用してはならない。

(平一五、七・改正)

(使用権の譲渡等の禁止)

第九条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(使用許可の取消し等)

第十条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又はメディアテークの使用を制限し、若しくは停止することができる。

一 使用者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二 第四条第二項各号のいずれかに該当することとなったとき

(指定管理者)

第十一条 教育委員会は、メディアテークの管理運営上必要と認めるときは、地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)にメディアテークの管理を行わせることができる。

(平一六、三・全改)

(指定管理者が行う業務の範囲)

第十二条 前条の規定により指定管理者にメディアテークの管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

一 第四条第一項の許可に関する業務

二 第三条各号に掲げる事業の企画及び実施に関する業務

三 メディアテークの維持管理に関する業務

四 前三号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

2 前項の場合における第四条及び第十条の規定の適用については、これらの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平一六、三・追加)

(指定管理者が行う管理の基準)

第十三条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則の定めるところに従い、適正にメディアテークの管理を行わなければならない。

(平一六、三・追加)

(委任)

第十四条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

(平一六、三・旧第十二条繰下)

附 則

(施行期日)

1 この条例の施行期日は、市長が定める。

(平成一二年九月規則第一〇二号で、附則第二項の規定は平成一二年一〇月一日から施行)

(平成一二年一二月規則第一二六号で、平成一三年一月二六日から施行)

(仙台市視聴覚教材センター条例の廃止)

2 仙台市視聴覚教材センター条例(昭和四十七年仙台市条例第二十六号)は、廃止する。

附 則(平一五、七・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平一六、三・改正)

この条例は、平成十六年四月一日から施行する。

附 則(平二八、三・改正)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成二十八年十月一日から施行する。

(使用料に関する経過措置)

2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料については、なお従前の例による。

3 前項の規定にかかわらず、施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合においては、当該行為を使用の許可等とみなして同項の規定を適用することができる。

附 則(平三一、三・改正)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。

(使用料及び利用料金に関する経過措置の原則)

2 附則第四項及び第五項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料及び利用料金については、なお従前の例による。

3 施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合においては、当該行為を使用の許可等とみなして前項の規定を適用することができる。

別表(第四条、第五条関係)

(平一六、三・平二八、三・平三一、三・改正)

一 各室の使用料

イ ギャラリー

使用区分	金額(一日につき)
五階ギャラリーa	二八、五〇〇円
五階ギャラリーb	二八、五〇〇円
五階ギャラリーc	二八、五〇〇円
五階ギャラリーa、五階ギャラリーb及び五階ギャラリーcの隣接する二室を同時に使用する場合	五二、九〇〇円
五階ギャラリーa、五階ギャラリーb及び五階ギャラリーcを同時に使用する場合	七三、三〇〇円
六階ギャラリーa	三九、七〇〇円
六階ギャラリーb	三九、七〇〇円
六階ギャラリーa及び六階ギャラリーbを同時に使用する場合	七三、三〇〇円
備考	
一	一、〇〇〇円を超える入場料を徴収する場合(第四号に規定する場合を除く。)の使用料は、この表に定める額の二倍とする。
二	「入場料」とは、入場料、会費その他名称のいかんを問わず入場者が主催者に支払う料金をいい、入場料の額に段階がある場合は、最高の入場料の額をもって入場料の額とする。
三	五階ギャラリーa、五階ギャラリーb又は五階ギャラリーcのいずれか一室を二分して使用する場合の使用料は、この表に定める

額の二分の一とする。

四 物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合の使用料は、この表に定める額の三倍とする。

五 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。

六 準備に使用する場合の使用料は、この表に定める額(第一号又は第四号に規定する場合にあっては、当該各号の規定により定める額)の二分の一とする。

ロ プラザ

使用区分		金額(一日につき)
プラザ	入場料を徴収しない場合	六一、一〇〇円
	入場料を徴収する場合	一二二、二〇〇円

備考

一 「入場料」とは、入場料、会費その他名称のいかんを問わず入場者が主催者に支払う料金をいう。

二 物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合の使用料は、この表に定める額の三倍とする。

三 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。

四 準備に使用する場合の使用料は、この表に定める額(第二号に規定する場合にあっては、同号の規定により定める額)の二分の一とする。

ハ スタジオシアター及びその他の施設

使用区分		使用時間	午前(午前九時～正午)	午後(午後一時～午後五時)	夜間(午後六時～午後九時三十分)
スタジオシアター	入場料を徴収しない場合		五、五〇〇円	七、三〇〇円	九、一〇〇円
	二、〇〇〇円以下の入場料を徴収する場合		一一、〇〇〇円	一四、六〇〇円	一八、三〇〇円
	二、〇〇〇円を超える入場料を徴収する場合		一六、五〇〇円	二二、〇〇〇円	二七、五〇〇円
プラザ控室 a			二二〇円	三〇〇円	三〇〇円
プラザ控室 b			三〇〇円	四〇〇円	四〇〇円
二階会議室			一、五〇〇円	二、〇〇〇円	二、五〇〇円
七階会議室 a			一、五〇〇円	二、〇〇〇円	二、五〇〇円

七階会議室 b	一、五〇〇円	二、〇〇〇円	二、五〇〇円
託児室	六一〇円	八一〇円	一、〇〇〇円

備考

- 一 「入場料」とは、入場料、会費その他名称のいかんを問わず入場者が主催者に支払う料金をいい、入場料の額に段階がある場合は、最高の入場料の額をもってこの表の入場料の額とする。
- 二 次のイからハまでに掲げる使用時間に係る使用料は、それぞれイからハまでに掲げる額とする。
 - イ 午前九時から午後五時まで 午前の欄及び午後の欄に掲げる額の合計額
 - ロ 午後一時から午後九時三十分まで 午後の欄及び夜間の欄に掲げる額の合計額
 - ハ 午前九時から午後九時三十分まで 午前の欄、午後の欄及び夜間の欄に掲げる額の合計額
- 三 この表に定める使用時間以外の時間に使用する場合(前号の場合を除く。)における使用料は、その使用が午前九時以前又は正午から午後一時までのときは午前の欄に、午後五時から午後六時までのときは午後の欄に、午後九時三十分以降のときは夜間の欄にそれぞれ掲げる額を時間割りして計算した額(百円未満の端数が生じたときは、これを百円に切り上げる。)とする。この場合において、その使用に係る時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。
- 四 スタジオシアターを物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合の使用料は、二、〇〇〇円を超える入場料を徴収する場合の額とする。
- 五 スタジオシアター以外の施設を物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合(ギャラリー、プラザ又はスタジオシアターの使用を伴わない場合に限る。)の使用料は、この表に定める額の三倍とする。
- 六 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。
- 七 スタジオシアターを準備に使用する場合の使用料は、この表に定める額(第四号に規定する場合にあっては、同号の規定により定める額)の二分の一とする。

二 駐車場の使用料

一台につき、駐車時間一時間当たり三百円を超えない範囲内で教育委員会が定める額